

活動をインターネットで紹介しています

ちば多文化協働プロジェクト

検索



<https://www.facebook.com/chibatabunka26>

写真

クラスや講座の様子
チラシなど

動画

日本語クラスのスピーチ
ミニドラマ
防犯パトロールの様子など

ログイン不要

どなたでも閲覧可能です



記事

取組の予告、報告
目的・内容・参加者の声

H27年度事業実施状況(2016.2.4現在)

取組	参加者数	国籍	連携等
取組1 テーマでつながる日本語クラス 3期実施(6/20-7/4, 9/25-10/9, 1/18-2/1)	145人 (うち外国人 学習者77人)	アメリカ、イギリス、 インドネシア、エジプト、 カナダ、韓国、ジャマイカ、 タイ、台湾、タジキスタン、 中国、チリ、日本、 ニュージーランド、 ネパール、パキスタン、 バングラディッシュ、 フィリピン、フランス、 ベトナム	千葉中央警察署
グループ会話クラス 2期実施(7/2-7/30, 11/11-11/29) うち1期は若葉区にて開催			千葉市社会福祉協議会若葉区事務所
初級文法クラス 2期実施(4/28-6/2, 10/7-11/4)			
取組2 日本語学習支援ボランティア入門講座 4期実施(5/15-5/29, 7/15-7/29, 12/1-12/15, 2/20-3/5)	109人 (うち外国人 学習者28人)	アメリカ、韓国、ジンバブエ、 タイ、台湾、中国、日本、 ニュージーランド、フランス、 ベトナム、ミャンマー	
日本語学習支援ボランティア養成講座 1期実施(9/3-11/5)			
日本語学習支援ボランティア実践講座 2期実施(6/10-6/21, 11/20-12/4)			
ボランティア活動相談会 5/28, 9/30, 10/29, 12/15			
取組3 多文化理解セミナー 3期実施(10/31, 11/16, 12/11)	84人 (うち外国人 30人)	イラン、インドネシア、 ウガンダ、カナダ、韓国、 コロンビア、タイ、台湾、 タンザニア、中国、日本、 ネパール、バングラディッシュ、 フィリピン、ベトナム、 マレーシア、ミャンマー	ちば国際コンベンションビューロー-千葉県国際交流センター、宮崎公民館、千葉市立稲毛高等学校、多文化フリースクール、千葉大学学務部留学生課
防犯パトロールキャンペーン 5箇所実施(10/17, 10/20, 10/21, 10/26, 10/27)	16人 (うち外国人 8人)	イギリス、インド、中国、 ペルー、日本	磯辺中学校区育成委員会、今井連合町会、稲毛町防犯パトロール隊、松波町会、幕張町北4丁目自治会、千葉中央警察署、千葉西警察署、中央区役所地域振興課地域づくり支援室、中央区役所地域振興課地域づくり支援室、美浜保健福祉センター健康課、消防局、消防署
取組4 多文化協働ネットワーク会議 11/30	23人 (うち外国人 4人)	日本、中国、バングラディッシュ、 マレーシア、ベトナム	千葉県千葉中央警察署、千葉県千葉西警察署、千葉公共職業安定所、千葉市(防災対策課、国際交流課、保育運営課、保育所、中央区役所地域振興課地域づくり支援室、若葉区役所地域振興課くらし安心室、美浜区役所地域振興課地域づくり支援室、美浜保健福祉センター健康課、消防局、消防署) NPO法人日本防災士会 千葉県北部支部



公益財団法人 千葉市国際交流協会

〒260-0013 千葉市中央区中央2-5-1
千葉中央ツインビル2号館8階
TEL 043-202-3000

ちば多文化協働プロジェクト お問い合わせ先
chibatabunka@ccia-chiba.or.jp

たぶんか きょうどう

ちば多文化協働プロジェクト 2015

平成 27 年度 文化庁委託事業 成果報告



千葉市の外国出身者は約 2 万人です。
留学生、駐在社員、配偶者、研修生、
看護介護職など、多様化して、社会に
組み込まれています。

日本語で自己表現するのが難しい…
外国人が多いけれど話さきっかけがない、
どちらも、もったいないことです。

様々な文化背景の人がお互いの話を聴い
たり気づきを発信したりすることで、地域は
だれにとっても住みやすいまちに進化してい
くでしょう。

千葉市国際交流協会では、従来から外国
人市民に対するコミュニケーション支援事業を
おこなっています。「ちば多文化協働プロ
ジェクト」では、一般の市民の方も参加しや
すい企画をつくり、多様な言語・文化を背
景に持つ人々同士が楽しく対話し、お互
いを知る形式にしました。

(公財) 千葉市国際交流協会

日本語クラス

このプロジェクトの日本語クラスは、市民参加の対話型であることが特徴です。コミュニケーションを通じて各参加者のさまざまな能力を生かすことができます。外国人市民にとっては、クラス活動が日本語習得の過程になり、日本人市民にとっては、異なる価値観に触れたり、日本語を母語としない人々とのよりよいコミュニケーションのとり方を考えたりする機会となります。

テーマでつながる日本語クラス

「葬儀」「防犯」「学校の役割・親の役割」の3つのテーマで、話す・聞く・読む・書く・やってみる・調べる・つくる、などの活動をしながら考えや気持ちを発信しあいました。スピーチやミニドラマといった発信の成果物は、動画で公開しています。

国のことを発表できて嬉しい。他の発表も興味深かった

考えさせられた。知りたいことはどんどん広がる

グループ会話クラス

「わたしの夢」をストーリーにまとめて、デジタルやアナログの紙芝居にしました。日本語ボランティアや他の学習者と話しながら将来の夢を具体化していく作業。日本語学習になるのはもちろん、夢の実現に向けた一歩を言語化することが、チャレンジする意欲にもつながりました。

ほかの参加者のストーリーもみんなすばらしい！わたしも頑張ります

何かを創るといふ協働作業を通じて言葉を理解するおもしろさ・楽しさがあった

初級文法クラス

～することができる／～するまえに／～したことがある、など、日本語の基礎的な文の作り方を練習しながら、身近なことについてたくさん話しました。クラスの学習の目的は生活の中のコミュニケーション向上。ことばの構造に意識を向けつつ、内容のある「生きた会話」を大切にしました。

このクラスのやり方はとても実践的！

ほんの少しの言葉の違いや使い方も学習者の大きな疑問になることがわかった



日本語学習支援ボランティア講座

外国人市民が地域の一員として活躍できる社会をめざすとき、日本語学習支援にはどんな活動が望まれるのか、理論と実習がありました。対話と協働から、気づきや新たな価値が生まれました。

入門講座

対話型日本語活動に必要な基礎知識とコミュニケーションスキルを3回の中にまとめました。これから活動を始める方には指針となり、従来型の日本語指導をしている方には、「学習支援」についての新たな視点を提供しました。

日常生活でも活かせることをたくさん学べた

日本語ボランティアに求められているのが「学習者との対等な関係」と知り、安堵した

養成講座

入門講座に加えて、さらに具体的な学習素材や利用法を盛り込みました。学習に役立つ辞書ツールや文化庁のサイトからダウンロードできる教材の紹介もしました。参加者同士の十分な対話・協働を通して、修了後も相談しあえる関係性が生まれました。

ボランティアの役割は日本語を教えることと考えていたが、それよりももっと大切なことがあると知った

学習者と共に学び、解決する。今まで自分が調べて伝えてばかりいたことを反省した

実践講座

市民参加の日本語活動では、「お喋り」も交流や国際理解、生活支援として大切です。そのお喋りが少しの意識で「日本語学習」にもなります。講座では学習者との協働セッションでその方法を演習しながら、対等な関係を築くためのコミュニケーションのあり方に意識を向けました。

ほかの参加者の意見をきき、意識していなかった自分の感情や考えに気づいた

他者との違いを知ることは自分自身の許容範囲を広げることだと感じた



学習者に寄り添う気持ちが、「聴くこと」「待つこと」につながっていくと感じた

多文化理解セミナー

協働・交流を通じて多様な文化について理解するセミナーを3回実施しました。いずれも外国人市民と日本人市民が気軽に楽しく話を聴きあえる時間を多く設けました。

外国人住民とまちの未来を語ろう ～グローバル化と多様性～

中高大生など若者層を中心に、多様な出身地域の参加者がグループで協働しました。まちづくりにおいて大切だと思う項目をランキング。意見交換のまえに、まず活動内容を共有するためのコミュニケーションに工夫が求められました。

自分たちが、今とても平和な社会で生きることができているんだと気づいた（高校生）

今までは英語をバラバラ話したいと思っていたが、それよりも上手に伝えられるようになりたいと思った（高校生）

日本語があまりわからない人とどうやってコミュニケーションをとろうかと思ったが、最後は身振りなども交えて通じ合えてよかった。この体験も、グローバル化する社会でまちをつくることに生かしていける（高校生）

世の中、英語だけじゃないんだ。スペイン語やフィリピンの言葉を聞いてすごく興味を持った（高校生）

え？わたしだけの思い込み？！ ～世界地図で見る価値観の違い～

模造紙を囲んで世界を飛び回りながら、出身の異なる人々が考えを伝え合いました。多文化を背景に持つ市民を日本はどう地域に受け入れるのか、多様な考えの発信がありました。



私たちがあたりまえと思っていることが外国ではそうじゃなかったりする。その違いによって社会問題に対する目のつけどころが違ってくことに気づいた（高校生）

宗教と食 ～豚を食べる人、食べない人～

イスラム教についての講義のあと、日本に住む外国人ムスリムとの交流で理解を深めました。日本の生活の中で教義をどう実践しているのか、直接、生の声を聴くことができました。

日本は開かれていくことが求められていると思う。同時に、従来からあるものが変わっていくことに、怖さもある

日本のことがよくわからない。これからもこのようなイベントでコミュニケーションが図れる機会を期待したい

「ハラール」は食品だけをさすことではないことを日本人の友達に教えたくなった

テレビなどで見る限り、イスラムは厳しいしほりがあると考えていたが、多様な生き方をしていることがわかった

結婚やモスクや生活についても訊いてもらえて嬉しかった



防犯パトロールキャンペーン

多文化協働の輪を町内会へ。外国人市民が地元住民と交流しながら防犯活動に貢献できるよう、きっかけをつくりました。歩いて目に入るものを素材にすると、衣食住から環境問題まで話が尽きず、日本語学習の機会としても有意義です。



まちの安全は地域の人たちが守っていることを学んだ

今後も自分の団地でこのような機会があれば参加したい

たいへん友好的で、若さ明るさにあふれて良好！

続けて参加してもらえたら相互理解が深まる

多文化協働ネットワーク会議

地域の多文化化に伴う課題に、行政やNPOなど、さまざまな部署や機関が連携して取り組めるよう、情報交換の場を設けました。

第1回会議では、外国人市民を交えて防災に関する情報共有とシミュレーションでのアイデア出しをしました。

言語の問題にとらわれていたが、相手を知ろうとする思いがコミュニケーションにつながる、と強く感じた

「防災」のテーマにも「就労」や「保育」など様々な問題が関係しているということが知れてとても有意義だった

他機関と連携を図っていく必要を感じた



さまざまな分野の担当者が参加していて、外国人を生活者（住民）として受け入れようとしていると感じた

初めて日本語ボランティアをする方のための

日本語学習支援ボランティア 入門講座

日時 平成26年5月9日(金) 13:00~15:00
場所 千葉市国際交流プラザ会議室
(千葉市中央区中央2-5-1 千葉中央ツインビル2号館8階)
対象 千葉市国際交流協会にボランティア登録している方。
または、日本語の学習支援に関心を持っている方。
内容 日本語学習支援について(誰に何をどうやって教えますか?)
講師 伊藤 三枝子先生
費用 無料
申込方法 協会窓口、ファックス、メールにて。
問い合わせ 公益財団法人千葉市国際交流協会 担当:鈴木、矢島
TEL:043-202-3000 FAX:043-202-3111
Email:28n@ccia-chiba.or.jp

今後の開講予定 ・7/30(水)17:30~19:30 ・11/12(水)10:00~12:00 ・2/28(土)13:30~15:30
※内容は、毎回ともすべて同じです。

平成27年度文化庁委託事業

日本語初級文法クラス

千葉市国際交流協会では、通常、マンツーマンで日本語学習支援を行っています。
マンツーマン日本語活動の目的は、日本語での会話を通じた、お互いの交流や生活上の問題の解決です。

今回実施する初級文法クラスで文型・文法についての悩みや疑問を解決し、普段の日本語活動で、より一層、会話の「内容」に重点を置いてもらうことをねらいとします。
ぜひ、この文法クラスを活用してください。

日時:4/28, 5/12, 5/19, 5/26, 6/2
(火)13:00~15:00

場所:国際交流プラザ

対象レベル:
ゼロレベル終了者~初級前半、
文法や文型の知識を得ながら話す練習をしたい人
(日本語学校生や卒業生は適しません)

扱う内容:
動詞のグループと活用、もし~たら、
~ことができる、~ことがある、
~と思う、~してもいい、~してから、
~するまえに
など、使用頻度の高い基礎的な表現

学習方法:
お喋りの中に出てきた表現を取り上げて、
作り方や使い方を学習、練習する。

※ボランティアの方も同席できます。



申込先: 千葉市国際交流協会
担当:鈴木(すずき)

TEL:043-202-3000
Email:27b@ccia-chiba.or.jp

テーマでつながる

葬儀
そうぎ

日本語クラス

にほんご
6/20,27,7/4(土)

9:30-12:30 国際交流プラザ



葬儀の方法など、人が亡くなったときの習慣について考えます。日本での習慣を知っていますか。あなたの国ではお葬式のときの色はありますか。どのように埋葬しますか。亡くなった人の家族にどんなことをしてあげますか。国の習慣について教えてください

ステップ1からステップ3まで、3回あります。できるだけ全部参加してください

ステップ1 6/20(土)

テーマ(葬儀)について、調べたり話したりします。日本の習慣について、話を聞きます。

無料!

ステップ2 6/27(土)

スピーチをしたり、小さいグループで日本人と話したりします。外からもいろいろな参加者が来ます。テーマに興味がある人が集まります。



ステップ3 7/4(土)

ステップ2のまとめのビデオを作ったり、皆さんの話をまとめた資料を作ったりします。それをインターネットに上げたり、友達に知らせるメールを書いたりします。



参加したい方は、次のことを知らせてください
お名前 連絡先 参加できる回数

公益財団法人千葉市国際交流協会 (CCIA) 担当 鈴木
〒260-0013 千葉市中央区中央2-5-1 千葉中央ツインビル2号館8階
お申込み・お問い合わせ Tel.043-202-3000 email chibatabunka@ccia-chiba.or.jp

Topic -funeral

Talk, Listen, Read, Write, Investigate \$ Apply

Japanese Language Class

6/20, 6/27, 7/4 (Sat.)

From 9:30-12:30 Chiba City International Association



Think about ways and practices related to death, funeral, and more. Do you know the habits in Japan. What color used during funeral. Are there ceremonies held by the family members of the deceased? How to burial? What are the preparations? Talk to us about your country's practices.

From step 1 to step 3, total of 3 times. We encouraged a full attendance in all of the 3 classes.

Step 1 (June 20)

Theme: Let's talk and find out more about the topic 'funeral'. Let's hear all about it!

Step 2 (June 27)

Some will do introduction, participants will discuss topic in a small group. There will also be participation of the local residents.

Step 3 (July 4th)

Make a video of the step 2 or summarize and compile the topic that have been discussed. Then upload them on the internet or write friends an email about it.

Participants are request to submit information below.

1. Name 2. Contacts Details 3. Days to join



千葉市国際交流協会 (CCIA) 担当 鈴木suzuki
申込み 電話043-202-3000 メール chibatabunka@ccia-chiba.or.jp

平成27年度文化庁委託
「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

第8弾

ちば
多文化協働
プロジェクト

テーマでつながる外国と日本
葬儀

6/27(土) 10:00-12:30

至 葬儀礼等有关末期的习俗会因各
國文化而产生很大的差异，但一般
来说却很少成为话题。
请聊一聊其他国家的情况，相互交
流吧。

Funeral and other customs
related to death varies
depending on one's culture.
But topic like this rarely
discussed. Let's talk and have
exchanges with people from
other countries!

葬儀など終末期に関する習慣は、文化によって大きく異なりますが、
日常あまり話題にすることがありません。日本の習慣は外国人市民に
どのように映っているのでしょうか。出身国での習慣とその背景にある
価値観はどのようなものなのでしょうか。話を聞き、交流します。

場 所: 千葉市国際交流プラザ
(中央区中央2-5-1)

対 象: 文化比較に興味のある方

内 容: 第1部 外国人住民のスピーチ
第2部 小グループでの意見交換

費 用: 無 料

定 員: 25名

主催 **ちば多文化協働プロジェクト**

お問合わせ・お申込み (公財)千葉市国際交流協会
千葉市中央区中央2丁目5-1 千葉中央ツインビル2号館8階

TEL 043-202-3000(鈴木)

メール chibatabunka@ccia-chiba.or.jp

件名を「6/27参加希望」として、お名前とご連絡先をお送りください

制作带声音的相册！多说日语吧
主题例：3年后的我、我的乐趣等

小组会话班

初级水平 日期：7/2, 7/9, 7/16, 7/23, 7/30
每周四10:00-12:00
地点：千叶市国际交流广场

咨询
(公財)千葉市国際交流協会
鈴木(すずき)
TEL:043-202-3000
Email:27g@ccia-chiba.or.jp

希望多说日语的人，请一定参加。
除讲师以外，还有志愿者也参加。

日本語学習支援 ボランティア実践講座

学習者とともに生き生きと活動しよう！


学習支援活動をしているけれど
これでいいのかな?とお悩みの方へ！

講師 日本語講師
地域日本語教育コーディネーター
高浪 絵理

概要	内容
日時：6月10日～6月24日 毎週水曜日 9:30～12:30 ※7/1を予定日とします 場所：千葉市国際交流協会 受講料：無料 定員：15名 対象：すでに日本語支援活動中の方	<ul style="list-style-type: none"> 学習者を変えたトピック型学習活動の実践（「協働セッション」） その準備とふりかえり 学習者とのよりよいコミュニケーションについての考察

講座の特徴

この講座では学習者がたくさん結ぶ環境を作ることを目指し、実際に日本語活動をグループで行いながら、よりよいコミュニケーションのあり方を学習者や講座参加者と協働で探っていきます。現在ペアを組んでいる（または教室の）学習者といっしょの参加も歓迎します。



 昨年の実践講座参加者の声：

 「実践が多く、まさに生きた学習だった」

 「学習支援の必要性について気づかされた」

 「学びながら、とても楽しかった」

 「一歩一歩の学習では「おしゃべり」に終わってしまっていたが、それを「学習」にしていく工夫を常に考えていきたい」


 「学習者とのコミュニケーションのあり方を考えさせられた」

 「学習者の心算を捉えていかに発話を促し、また学習効果を高めるか、興味のあるストーリーや内容を学ぶことができ、とても有意義だった」

応募資格：日本語学習支援活動経験のある方で①当協会賛助会員 ②協会ボランティア登録している方 ③地域の日本語教室で活動している方(教室の推薦書が必要です)
※年会費 2000 円をお支払いいただければなたでも賛助会員になれます。

応募方法

希望講座名、氏名(ふりがな)、住所、電話番号、賛助会員番号を明記の上、下記アドレス宛に送信してください

27j@ccia-chiba.or.jp

郵送・窓口応募については協会HPをご覧ください。

公益財団法人 千葉市国際交流協会
Chiba City International Association
千葉市中央区中央2-5-1
<http://www.ccia-chiba.or.jp/>

かいわクラスに きませんか

しょきゅうレベル
初級レベル

①6/10、②6/17 11:00-12:30 ③6/24 10:00～11:30

たくさん、にほんごをはなそう!

にほんご
このクラスは、日本語ボランティアのための
じっせんこうざ なか
実践講座の中でおこないます。

まいかい せいかつ なか わだい にほんご かいわ
毎回、生活の中的话题で、日本語会話をします。

にほんご はな ひと さんか
たくさん、日本語で話したい人、ぜひ参加してください！

Come and Join our Japanese Class!

Beginner
level

①6/10, ②6/17 11:00-12:30 ③6/24 10:00~11:30

Let's talk about
various topics in
Japanese

This class is a practical training class for volunteers of Japanese language. We discuss topics related to everyday life. If you are interested in talking about various things in Japanese, come and join us!

일본어 클래스에 참가합시다!

모집 대상: 일본어 초급을 공부하시는 분
일시(목요일), 시간:
6월10일, 6월17일, 11시 - 12시 30분
6월24일 10시 - 11시 30분

일본어 대화를 즐기고
싶으신 분은 꼭 한
번 참가해 보십시오!

이번 특별 클래스는, '일본어 불란티어의 실천 강좌'의 분들과 함께 실시합니다. 매일 생활 속의 화제를 테마로 이야기를 나눕니다.

您不来日语班吗

①6/10, ②6/17 11:00-12:30 ③6/24 10:00~11:30

初级水平

多说日语吧

这个班是在培训日语志愿者的实践讲座中举办的。
每次都用生活中的话题进行日语会话。
希望多说日语的人，请一定参加。

5月28日11時~12時 国際交流プラザ

千葉市国際交流協会 ちば多文化協働プロジェクト

第1回

ボランティアのための 日本語活動相談会

こんにちは。本プロジェクトのコーディネーターをしている奥地です。

ボランティアのみなさん、日本語活動はいいですか？

「やっている場所はこれでもいいのかしら？」

「こんなとき、どうすればいいのかな？」

「ボランティア同士が知り合う機会がほしいな」

という声を聞くことがあります。

そこで、より手助けと交流を促し、自由参加のミーティングを企画しました。お知らせください！

(人数定員のため、受付で申し込みをお願いします)

コーディネータープロフィール：

奥地 (まんなみ) 担任

1997年より国内外で地域福祉・青少年・国際交流人材などの日本語教育に関わる。2006年より千葉市国際交流協会

協会の日本語学習支援事業に携わり、ボランティアの関わりによる日本語活動の活性化を目的とする。日本語学習の

目的・動機とは異なるアプローチの視点から活動がすすむよう、日本語のスキルやボランティア活動のプログラム

デザインを担っている。

初めて日本語ボランティアをする方のための

入門 日本語学習支援 ボランティア講座

日時 平成27年7月15、22、29日(水) 13:00~15:00

場所 千葉市国際交流プラザ会議室
(千葉市中央区中央2-5-1 千葉中央ツインビル2号館8階)

対象 千葉市国際交流協会にボランティア登録している方。
または、外国人住民へのコミュニケーション支援に関心を持っている方。

内容 日本語ボランティアの役割、コミュニケーションスキル、やさしい日本語

講師 萬浪 絵理

費用 無料

申込方法 協会窓口、ファックス、メールにて。

問い合わせ 公益財団法人千葉市国際交流協会 担当: 鈴木、矢島
TEL: 043-202-3000 FAX: 043-202-3111
Email: 27n@ccia-chiba.or.jp

今後の開講予定 ・12/1, 8, 15 (火) 10:00-12:00 ・2/20, 27, 3/5 (土) 13:00-15:00

※既に活動中の方で未受講の方もぜひ参加をご検討ください。

H27年度 文化庁委託事業

日本語学習支援 ボランティア養成講座

学習者とともに生き生きと活動しよう!

日本語ボランティア活動に必要な
基礎知識とスキルを学びたい方へ!

講師 萬浪 絵理 加藤早苗
西山 陽子 田栗春菜

概要	内容
日時: 9月3日~11月5日(全10回) 毎週木曜日 10:00~13:00 ※11/12 予備日 場所: 千葉市国際交流協会 受講料: 無料 定員: 20名	○日本語学習支援に必要な コミュニケーションスキル ○おしゃべりを学習に変える演習 ○テキストを素材にして 対話を進める演習 どの回もグループワークなどの参加型です

参加者の声

多面的に考える機会になった。日本の国際化がどういう方向に行ったらいいのか、勉強になった。地域に住民として生活している外国人との共生を日常の活動を通じて実践してみたい。

日本語教師と日本語ボランティアは違うということがわかり、今後の参考に
なった。 ボランティアは日本語を教えると思っていた。
いろいろなことが目からウロコだった。



研修の知識をさびつかせないように、いろいろなしつけがあり、充実したカリキュラムだった。

いろいろな考え方を学べてとてもよかった。
これからの活動に活かしたい。



応募資格: ① 当協会賛助会員
② 協会ボランティア
③ 市内の日本語教室で活動している方
(教室の推薦書が必要です)
※年会費 2000 円をお支払いいただければどなたでも賛助会員になります。

応募方法

希望講座名、氏名(ふりがな)、住所、電話番号、賛助会員番号を明記の上、下記アドレス宛に送信してください
27y@ccia-chiba.or.jp

郵送・窓口応募については協会HPをご覧ください



公益財団法人 千葉市国際交流協会
Chiba City International Association
千葉市中央区中央2-5-1
<http://www.ccia-chiba.or.jp/>

日本語初級文法クラス

千葉市国際交流協会では、通常、マンツーマンで日本語学習支援を行っています。マンツーマン日本語活動の目的は、日本語での会話を通じた、お互いの交流や生活上の問題の解決です。

今回実施する初級文法クラスで文型・文法についての悩みや疑問を解決し、普段の日本語活動で、より一層、会話の「内容」に重点を置いてもらうことをねらいとします。ぜひ、この文法クラスを活用してください。

日時: 10/7, 10/14, 10/21, 10/28, 11/4
(水) 10:00~12:00

場所: 国際交流プラザ

対象レベル:
ゼロレベル終了者~初級前半、
文法や文型の知識を得ながら話す練習
をしたい人

扱う内容:
動詞のグループと活用、もし~たら、
~ことができる、~ことがある、
~と思う、~してもいい、~してから、
~するまえに
など、使用頻度の高い基礎的な表現

学習方法:
お喋りの中に出てきた表現を取り上げて、
作り方や使い方を学習、練習する。

※ボランティアの方も同席できます。



申込先: 千葉市国際交流協会
担当: 鈴木(すずき)

TEL: 043-202-3000
Email: 27b@ccia-chiba.or.jp

Japanese Grammar Class for Beginners Students Wanted!

The Chiba City International Association holds Japanese language learning support tutorial aiming to help non-Japanese speakers communicate in Japanese so that they can be able to interact and involve with each other to solve daily difficulties.

With the aim of emphasizing even more on conversation, Japanese Grammar Class for Beginners' contents is designed to focus on sentence pattern and grammar to help answer questions and concerned about the Japanese language.

When: October 7, 14, 21, 28,
November 4
Wednesdays, from 10:00 – 12:00

Where at: Chiba City International
Communications Plaza

Eligibility level:
Those completed zero level class to mid
of beginner level and those who wants to
practice speaking while learning more
about grammar and sentence patterns

Contents / Curriculum:
Verb groups and usage, use of 'moshi -
tara, -koto ga dekiru, -koto ga aru, -to
omou, -shite mo ii, -shite, -shitekara, -
suru mae ni, etc.,

Method of learning:
Usage and sentence constructions
using words that have been mentioned
during conversation

※The class will be taught by Japanese
language professionals



To apply: Chiba City International Association
Contact person: Suzuki

TEL: 043-202-3000
Email: 27b@ccia-chiba.or.jp

初级文法班

千叶市国際交流協会、通常以一个人对应一个人的方式进行日本語学习支援。
一个人对应一个人学习日本語活动的目的、是通过日本語会话、彼此交流和解决生活上的问题。

这次实施的初级文法班、根据平常的日本語交流活动、针对句型、文法的烦恼和疑问、更进一步把重点放在会话的「内容」作为目标。

日期：10/7, 10/14, 10/21, 10/28, 11/4,
(每周三)10:00 ~ 12:00

地址：千叶市国際交流广场

对象水平：

零水平结束者至初级前半部分水平者、想一边学文法和句型知识又想一边练习说话的人均可。

主要内容：

动词的分类和活用、如果～、～事能（可以）、有过～事、想～、做～可以、做～之后、做～之前等经常使用的基础文法表现

学习方法：

根据会话时的表达、运用和使用方法、进行学习和练习。

※担当为日本語教育专家。



咨询：(公財)千葉市国際交流協会
鈴木(すずき)

TEL: 043-202-3000
Email: 27b@ccia-chiba.or.jp

平成27年度文化庁委託
「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

ちば
多文化協働
プロジェクト

交流会 第9弾

がいく にほん
テーマでつながる外国と日本

ぼう はん
防犯

10/2(金) 13:30-16:00

为了保证自己和家人的安全、各个国家的人都注意些什么？请听一听其他国家的情况、相互交流吧。

What measures do they take to protect themselves from crime in other countries? How can we cooperate in the local area to secure ourselves? Let's talk and have exchanges!

場 所： 千葉市国際交流プラザ
(中央区中央2-5-1)

対 象： 防犯や外国事情に関心のある方

内 容： 第1部 外国人住民のスピーチ
第2部 小グループでの意見交換

費 用： 無 料

定 員： 20名

「日本は治安がよい」と話す外国出身者がたくさんいます。各国では、自分や家族の安全のためにどんな注意をしているのでしょうか。体験談を聞き、交流します。また、地域の住民同士としてできる対策をともに考えます。

主催 ちば多文化協働プロジェクト

お問い合わせ・お申込み (公財)千葉市国際交流協会
千葉市中央区中央2丁目5-1 千葉中央ツインビル2号館8階

TEL 043-202-3000(鈴木)
メール chibatabunka@ccia-chiba.or.jp

件名を「10/2交流会参加希望」として、お名前とご連絡先をお送りください

主题-防止犯罪

说一说,听一听,读一读,写一写,查一查,试一试

日语班

9/25, 10/2, 10/9 (周五)
From 13:00-16:00 千叶市国际交流广场



没有犯罪、安心安全的生活是多么美好。为了保证自己和家人的安全,您都注意些什么?您的国家和日本有哪些区别?本班将围绕防止犯罪,进行日语会话和思考。

从第1步到第3步,共3次。请尽可能全部参加。

第1步 (9/25)
围绕主题(防止犯罪),进行调查和会话。并比较一下有共同参加者的国家和地区的情况。

第2步 (10/2)
进行演讲,并分小组与日本人会话。
外部的各种参加者也来参加,对该主题感兴趣的人相聚。

第3步 (10/9)
制作第1・2步的综合录像,练习写作文。
把作品登到网上,并写短信通知朋友。



希望参加的人,请通知下列事项。

1. 姓名、
2. 联络方式、
3. 可以参加的次数



千叶市国际交流协会(CCIA) 担当 鈴木suzuki
申込み 電話043-202-3000 メール chibatabunka@ccia-chiba.or.jp

H27年度 文化庁委託事業
ちば多文化圏プロジェクト

テーマでつながる
防犯
ぼうはん

日本語クラス にほんご

9/25, 10/2, 10/9(金)
13:00-16:00 千叶市国際交流プラザ



犯罪のない、安心・安全な生活。自分や家族の安全を守るためにどんな注意をしていますか。国と日本では、どんなことが違いますか。このクラスでは、防犯について日本語で話したり考えたりします。

ステップ1からステップ3まで、3回あります。できるだけ全部参加してください

ステップ1 9/25(金)
手書き(防犯)について、調べたり話したりします。
防犯者の顔や服装について、話します。

無料!

ステップ2 10/2(金)
手書きをしたり、小さいグループで日本語と話したりします。席からいろいろな防犯者が来ます。手書きに興味がある人が集まります。



ステップ3 10/9(金)
ステップ1・2のまとめたビデオを作ったり、作文をしたりします。それをインターネットに上げたり、友達に知らせるメールを書いたりします。



参加したい方は、要の事を知らせてください
1. お電話 2. 電話簿 3. 参加できる日誌

〒260-0013 千叶市中央区中央2-5-1 千叶中央ツインビル2号館8階
お申込み・お問い合わせ Tel.043-202-3000 email chibatabunka@ccia-chiba.or.jp

Topic, -Security

Talk, Listen, Read, Write, Investigate & Apply

Japanese Language Class

9/25, 10/2, 10/9 (Fri.)

From 13:00-16:00 Chiba City International Association



We all wish to have safe and secure living without crime. What measures do you take to protect your family and yourself from crime? Are there differences in circumstances between your country and Japan? You can learn Japanese through talking and thinking in Japanese about "security" in this class.

From step 1 to step 3, total of 3 times. We encouraged a full attendance in all of the 3 classes.

Step 1 (Sep. 25)
Theme: Let's talk and find out more about the topic "Security". Share circumstances in your country with others.



Step 2 (Oct. 2nd)
Some will do introduction, participants will discuss topic in a small group. There will also be participation of the local residents.



Step 3 (Oct. 9th)
Make a video of the step 1 & 2 or summarize and compile the topic that have been discussed. Then upload them on the internet or write friends an email about it.

Participants are requested to submit information below.
1. Name 2. Contacts Details 3. Days to join



千葉市国際交流協会 (CCIA) 担当 鈴木suzuki
申込み 電話043-202-3000 メール chibatibunka@ccia-chiba.or.jp

わかばく 若葉区 にほんご会話クラス

かいわを しながら べんきょうします。
れい:わたしの ゆめ、たのしみ

かいわ くらす

しょきゅうレベル
初級レベル

にちじ
日時:
11/11, 11/18, 11/25, 12/2, 12/9
(水) 10:00-12:00



と あ さき
お問い合わせ先:
(公財)千葉市国際交流協会
担当: 鈴木 (すずき)
TEL 043-202-3000
Email: 27g@ccia-chiba.or.jp

ばしょ わかば ほけん ふくし せんたー かいぎしつ
場所: 若葉保健福祉センター会議室



にほんご はな ひと さんか
たくさん、日本語で話したい人、ぜひ参加してください!
こうし ほらんていあ くらす さんか
講師のほか、ボランティアもクラスに参加します。

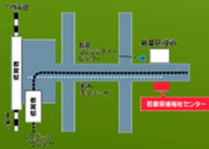
와카바 일본어 회화 클래스

대화를 나누면서 공부합니다.
예: 나의 꿈, 즐거움

초급 레벨

문의처
(공익 재단 법인)지바시 국제교
류 협회
담당:鈴木 (스즈키)
TEL:043-202-3000
Email:27g@ccia-chiba.or.jp

일시:
11월 11일, 18일, 25일, 12월 2일, 9일
(수) 10:00-12:00
장소:와카바 보건복지센터 회의실



일본어로 많이 대화를 나누고 싶으신 분, 꼭 참가
하세요!
강사와 자원봉사자도 클래스에 참가합니다.

边会话边学习
例如:我的理想、乐趣

若叶区日语会话班

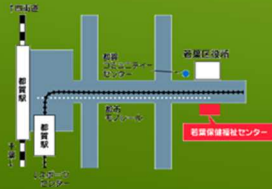
初级水平

咨询
(公財)千葉市国際交流協会
鈴木(すずき)
TEL:043-202-3000
Email:27g@ccia-chiba.or.jp

日期: 11/11, 11/18, 11/25, 12/2, 12/9
每周三 10:00-12:00

地点:若叶保健福祉中心会议室

希望多说日语的人, 请一定参加。
除讲师以外, 还有志愿者也参加。



Let's study Japanese through conversation
Example: My dreams, Things that interest me,
etc.

Japanese Conversation Class in Wakaba

Beginner
level

When: 11/11, 11/18, 11/25, 12/2, 12/9
every Wednesday from 10:00-12:00

Where at: Wakaba Health and Welfare Center

Contact:
Chiba City International
Association

Contact Person: Suzuki
TEL: 043-202-3000
Email: 27g@ccia-chiba.or.jp



If you are interested in Japanese conversation, please come and join!
Japanese language teachers and volunteers will also be joining.

文化庁委託事業
多文化理解セミナー1

外国人住民や留学生と まちの未来を語ろう ～グローバル化と多様性～



日時

10月31日(土) 13:30-16:30

千葉市国際交流プラザ
(JR千葉駅徒歩10分 千葉パルク隣 ツインビル8階)

講師・ファシリテーター: 神吉宇一氏 (長崎外国語大学特任講師)

第1部
知ろう!

13:30~14:10
「グローバル化と地域の変化」

第2部
話そう!

14:20~16:30
「世界を視野に入れて描く、まちの20年後」

私たちが住むまちにも外国人住民が年々増えていくことを知っていますか?
このセミナーでは、身のまわりの国際化に目を向けます。
数十年後、近所の人や会社の同僚とは、うまくコミュニケーションがとれるでしょうか。
外国人住民や留学生と意見交換をしたり、まちの未来像を楽しく描いたりします。

対象: 中学生、高校生、大学生年代、青年以上
定員30名(参加無料) 下記までお名前・学校名・ご連絡先をお知らせください

ご予約
お問い合わせ

千葉市国際交流協会 文化庁委託 『ちば多文化協働プロジェクト』

☎ : 043-202-3000 鈴木

✉ : chibatabunka@ccia-chiba.or.jp

H27文化庁委託事業 ちば多文化協働プロジェクト

多文化理解セミナー2015

第1回

10月31日(土)13:30~16:30

「外国人住民や留学生とまちの未来を語ろう」
～グローバル化と多様性～

講師：神吉宇一氏（長崎外国語大学特任講師）
場所：千葉市国際交流プラザ（JR千葉駅徒歩10分）
対象：中学生、高校生、大学生年代、および青年以上
内容：国際的な視点から「まちづくり」を考え、グループで話します

第2回

11月16日(月)10:00~12:30

「え？わたしだけの思い込み？！」
～世界地図で見る価値観の違い～

講師：松屋慎氏（東京女子大学教授）
場所：宮崎公民館（JR蘇我駅徒歩8分）
対象：家族・同僚・ご近所・外国の人々と、もっと理解しあえたら…と思う方
内容：外国人住民とのグループ活動でものの見え方の違いを体感します

第3回

12月11日(金)10:00~12:30

「宗教と食」
～豚を食べる人、食べない人～

講師：砂井紫里氏（早稲田大学非常勤講師）
場所：(公財)ちば国際コンベンションビューロー
千葉県国際交流センター 研修室（JR海浜幕張駅徒歩2分）
対象：世界の食文化や生活習慣に興味をお持ちの方
内容：イスラム教徒の食や生活習慣について知り、各国出身者と交流します
後援：(公財)ちば国際コンベンションビューロー

参加無料 定員 各回先着30名

お申込み：件名を「セミナー希望」とし、お名前・連絡先・参加希望日を下記までお知らせください

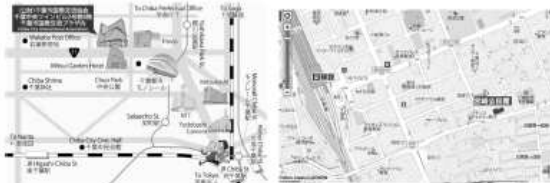
お申込み・お問い合わせ先
(公財)千葉市国際交流協会

043-202-3000 (鈴木)

chibatabunka@ccia-chiba.or.jp



地図



【千葉市国際交流プラザ】
〒260-0013
千葉市中央区中央2-5-1
千葉中央ツインビル2号館9階
JR千葉駅から徒歩10分

【宮崎公民館】
〒260-0806
千葉市中央区宮崎2-5-22
JR蘇我駅から徒歩8分



【(公財)ちば国際コンベンションビューロー
千葉県国際交流センター 研修室】
〒261-7114
千葉市美浜区中瀬2-6
WBG(ワールドビジネスガーデン)
マリポース14階
JR海浜幕張駅から徒歩2分

ちば多文化協働プロジェクトでは、多様な言語・文化背景を持つ人々が共に生きることができる社会をめざして取組をおこなっています。取組の報告はこちらです！

<https://www.facebook.com/chibatabunka26>

ちば多文化協働プロジェクト



QRコードPC用



スマホ用

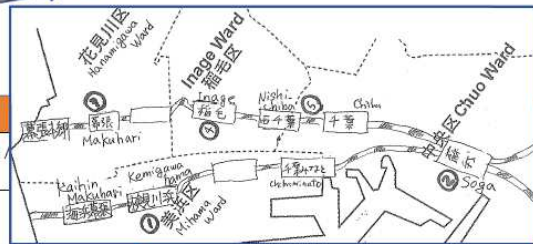


ぼうはん

防犯パトロールをしてみよう!

Let's join the bohan patrol!

请体验参加防止犯罪的巡逻!



①10/17,11/21 (土) 21:00-22:00	美浜区磯辺 JR検見川浜駅 みはまくいそべ JRいけみかわはまえき	Mihama Ward Isobe area / JR Kemigawahama Sta.
②10/20 (火) 19:00-20:00	中央区今井 JR蘇我駅 ちゅうおういまい JRそがえき	Chuo Ward Imai area / JR Soga Sta.
③10/21 (水) 18:30-19:30	花見川区幕張町 JR幕張駅 はなみかわくまくはりちょうJRまくはりえき	Hanamigawa Ward Makuhari-cho area / JR Makuhari Sta.
④10/26 (月) 15:00-16:00	稲毛区稲毛 JR稲毛駅 いなげくいなげ JRいなげえき	Inage Ward Inage area / JR Inage Sta.
⑤10/27 (火) 15:00-16:00	中央区松波 JR西千葉 ちゅうおうくまつなみ JRにしちば	Chuo Ward Matsunami area / JR Nishichiba Sta.

お申込み:

043-202-3000 (すずき)

chibatabunka@ccia-chiba.or.jp

主催: (公財)千葉市国際交流協会
ちば多文化協働プロジェクト

Chiba City International Association

Local residents work hand-in-hand to protect and ensure the safety and security of you and your family. By participating in this activity, you are able to communicate with people living in the same area while contributing in your locality. Individuals looking for friends from the neighborhood, even if cannot speak Japanese yet but is willing to participate, interested to learn more about the town, can join!

- ★ May participate even if your Japanese ability is yet limited.
- ★ This is a volunteer activity. Remuneration is not provided.
- ★ To know the volunteer's count, please write your name and contact number to apply.
- ★ Staff of the Chiba City International Association, and Japanese Language volunteers will also join.

自己と家族の安全生活是靠当地居民的相互协助来保障的。通过参加这些巡逻活动，既能与当地人进行交流，又能为当地人做些贡献！想与当地人交谈、想参加不太需要说日语的活动以及想了解街道情况等，请一定参加！

- ★ 不怎么会说日语的人也可以参加。
- ★ 巡逻属于志愿者活动，没有报酬。
- ★ 为了掌握人数，请报名时填写姓名和联系电话。
- ★ 国际交流协会的职员和日语志愿者一起参加。

じぶん かぞく あんぜんあんしん せいかつ ちいきじゆうみん きょうりょく まも
自分と家族の安心安全な生活は、地域住民の協力によって守られ
ています。参加することで、地域の人とコミュニケーションを
とりながら地元へ貢献することができます！地域の人と話したい・
話さなくてもできる活動に参加してみたい・まちのことを知りたいと
いう人、ぜひいっしょに！

- ・日本語があまり話せない人も参加できます。
- ・パトロールはボランティアです。
- ・人数を知りたいので、申し込む時にお名前と連絡先を教えてください。
- ・国際交流協会の職員や日本語ボランティアと一緒に参加します。

지역주민의 협력으로, 나와 가족이 안심하고 안전하게 생활할 수 있습니다. 방법 파트롤에 참가하면 지역 주민들과 대화도 나누고 지역에 공헌도 할 수 있습니다! 지역 주민과 이야기를 나누고 싶다· 활동에 참가하고 싶다· 지역에 대해 알고 싶다고 생각하고 계시는 분은 꼭 참가해 주십시오!

- ★ 일본어가 서투른 분의 참가도 환영합니다.
- ★ 방법 파트롤은 자원봉사 활동입니다. 보수는 없습니다.
- ★ 참가인원수를 파악하기 위해, 이름과 연락처를 알려 주십시오.
- ★ 국제교류협회의 직원, 일본어 자원봉사도 함께 참가합니다.

日本語学習支援 ボランティア実践講座

学習者とともに生き生きと活動しよう！

学習支援活動をしているけれど
これでいいのかな？とお悩みの方へ！

講師 日本語講師
地域日本語教育コーディネーター
萬浪 絵理

概要	内容
日時：11月20日～12月4日 毎週金曜日 9:30～12:30 ※12/11を予定日とします 場所：千葉市国際交流協会 受講料：無料 定員：15名 対象：すでに日本語支援活動中の方	<ul style="list-style-type: none"> 学習者を変えたトピック型学習活動の実践（「役割セッション」） その準備とふりかえり 学習者とのよりよいコミュニケーションについての考察

講座の特徴

この講座では学習者がたくさん話せる環境を作ることを目的とし、実際に日本語活動をグループで行いながら、よりよいコミュニケーションのあり方を学習者や講座参加者と協働で探っていきます。現在ペアを組んでいる（または教室の）学習者といっしょの参加も歓迎します。



昨年の実践講座参加者の声：

「高橋が多く、まさにまさに学習だった」
 「学習支援の役割について学ぶことができたことが多くあり、とても参考になった」
 「一対一の学習では『おしゃべり』に終わってしまうことになりがちだが、それを『学習』にしていく工夫を学ばせてくれたり」

「学習者とのコミュニケーションのあり方を考えさせられた」
 「学習者の問題を踏まえていかに発話を促し、また学習効果を高めるか、具体的なストラテジーや内容を学ぶことができて、とても有意義だった」



応募資格：日本語学習支援活動経験のある方で①当協会賛助会員 ②協会ボランティア登録している方 ③地域の日本語教室で活動している方（教室の推薦書が必要です）
 ※年会費 2000円をお支払いいただければごなたでも賛助会員になります。

応募方法

希望講座名、氏名（ふりがな）、住所、電話番号、賛助会員番号を明記の上、下記アドレス宛に送信してください。
 27j@ccia-chiba.or.jp

郵送・窓口応募については協会HPをご覧ください

公益財団法人千葉市国際交流協会
 Chiba City International Association
 千葉市中央区中央2-5-1
<http://www.ccia-chiba.or.jp/>

初めて日本語ボランティアをする方のための

入門 日本語学習支援 ボランティア講座

日時 平成27年12月1, 8, 15日（火） 10:00～12:00

場所 千葉市国際交流プラザ会議室
 （千葉市中央区中央2-5-1 千葉中央ツインビル2号館8階）

対象 千葉市国際交流協会にボランティア登録している方。
 または、外国人住民へのコミュニケーション支援に関心を持っている方。

内容 日本語ボランティアの役割、コミュニケーションスキル、やさしい日本語

講師 萬浪 絵理

費用 無料

申込方法 協会窓口、ファックス、メールにて。

問い合わせ 公益財団法人千葉市国際交流協会 担当：鈴木、矢島

TEL：043-202-3000 FAX：043-202-3111

Email：27n@ccia-chiba.or.jp

今後の開講予定 ・2/20, 27, 3/5（土）13:00-15:00

※既に活動中の方で未受講の方もぜひ参加をご検討ください。

テーマでつながる

学校の役割、
親の役割

日本語クラス にほんご

1/18, 1/25, 2/1(月)
9:30-12:30 千葉市国際交流プラザ



こどもは大きくなるまでにいろいろなことを身につけます。学校や親から何を学びますか。学校の中で親がする役割がありますか。日本と国で考え方が違うと感じたことはありますか。話しながら考えます。

ステップ1からステップ3まで、3回あります。できるだけ全部参加してください

ステップ1 1/18(月)

テーマ(学校の役割、親の役割)について、調べたり話したりします。

参加者の国や地域について、比べます。

無料!



ステップ2 1/25(月)

スピーチをしたり、小さいグループで日本人と話したりします。外からもいろいろな参加者が来ます。テーマに興味がある人が集まります。



ステップ3 2/1(月)

ステップ1・2のまとめのビデオを作ったり、作文をしたりします。それをインターネットに上げたり、友達に知らせるメールを書いたりします。

参加したい方は、次のことを知らせてください
1. お名前 2. 連絡先 3. 参加できる回数

公益財団法人千葉市国際交流協会(CCIA) 担当 鈴木
〒260-0013 千葉市中央区中央2-5-1 千葉中央インビル2号館8階
お申込み・お問い合わせ **Tel.043-202-3000** email chibatabunka@ccia-chiba.or.jp

Topic - Role of School,
Role of Parents

Talk, Listen, Read, Write, Investigate \$ Apply

Japanese Language Class

1/18, 1/25, 2/1 (Mon)

From 9:30-12:30 Chiba City International Association



Children adapt things as they grow. They learn from their parents and from school. Do parents play a role in school? Do you feel any difference between school in Japan and school in your country? Let's talk and think!

From step 1 to step 3, total of 3 times. We encouraged a full attendance in all of the 3 classes.

Step 1: (Jan. 18)

Theme: Let's talk and find out more about the topic 'Role of School, Role of Parents'. Share circumstances in your country with others.



Step 2 (Jan. 25)

Some will do introduction, participants will discuss topic in a small group. There will also be participation of the local residents.



Step 3 (Feb. 1st)

Make a video of the step 1 & 2 or summarize and compile the topic that have been discussed. Then upload them on the internet or write friends an email about it.

Participants are requested to submit information below.

1. Name 2. Contacts Details 3. Days to join

(会場地図 map)



千葉市国際交流協会(CCIA) 担当 鈴木suzuki
申込み 電話043-202-3000 メール chibatabunka@ccia-chiba.or.jp

主题-学校的职责、
家长的职责

说一说,听一听,读一读,写一写,查一查,试一试

日语班

1/18, 1/25, 2/1 (周一)

From 9:30-12:30 千叶市国际交流广场



在孩子长大成人的过程中,将会学习掌握各种知识。从学校和家长身上能够学习一些什么呢?在学校里,有家长可以做的事情吗?您曾经感觉到您国家的人与日本人的思维方式有所不同吗?一边会话一边思考。

从第1步到第3步,共3次。请尽可能全部参加。

第1步 (1/18)
围绕主题(学校的职责、家长的职责),进行调查和会话。并比较一下有关参加者的国家和地区的情况。

第2步 (1/25)
进行演讲,并分小组与日本人会话。
外部的各种参加者也来参加。对该主题感兴趣的人相聚。

第3步 (2/1)
制作第1・2步的综合录像,练习写作文。
把作品登到网上,并写短信通知朋友。



希望参加的人,请通知下列事项。

1. 姓名、 2. 联络方式、 3. 可以参加的次数



千叶市国际交流协会(CCIA) 担当 鈴木suzuki
申込み 電話043-202-3000 メール chibatabunka@ccia-chiba.or.jp

平成27年度文化庁委託
「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

第10弾

ちば
多文化協働
プロジェクト

がいく にほん
テーマでつながる外国と日本

がっこう やくわり
学校の役割

おや やくわり
親の役割

1/25(月) 10:00-12:30

对孩子来说,学校和家长各有其责
不同国家的人应该有不同的思维方式吧。请听一听其他国家的情况,相互交流吧。
School and parents play separate roles in children. Does approach varies from country to country? Let's talk and have exchanges with people from other countries!

場所: 千叶市国际交流プラザ
(中央区中央2-5-1)
対象: 教育・子育てや外国事情に関心のある方
内容: 第1部 外国人住民のスピーチ
第2部 小グループでの意見交換
費用: 無料
定員: 20名

子どもにとって、学校と親にはそれぞれの役割があります。国によって捉え方に違いがあるでしょうか。日本の学校は外国人市民にどのように映っているのでしょうか。話を聞き、交流します

主催 ちば多文化協働プロジェクト

お問合わせ・お申込み (公財)千叶市国際交流協会
千叶市中央区中央2丁目5-1 千葉中央ツインビル2号館8階

TEL 043-202-3000(鈴木)
メール chibatabunka@ccia-chiba.or.jp
件名を「1/25交流会参加希望」として、お名前とご連絡先をお送りください

日本語ボランティアをする方にぜひ知っていただきたい

入門 日本語学習支援 ボランティア講座

日時 平成28年2月20日, 27日, 3月5日(土) 13:00~15:00

場所 千葉市国際交流プラザ会議室
(千葉市中央区中央2-5-1 千葉中央ツインビル2号館8階)

対象 千葉市国際交流協会にボランティア登録している方。
または、外国人住民へのコミュニケーション支援に関心を持っている方。

内容 日本語ボランティアの役割、コミュニケーションスキル、やさしい日本語

講師 萬浪 絵理

費用 無料

申込方法 協会窓口、ファックス、メールにて。

問い合わせ 公益財団法人千葉市国際交流協会 担当: 鈴木

TEL: 043-202-3000 FAX: 043-202-3111

Email: 27n@ccia-chiba.or.jp

※既に活動中の方で未受講の方もぜひ参加をご検討ください。

取組別アンケート集計

※回答数、割合について:複数回答可の場合は、総回答数に対する割合となる。

1 取組1 日本語クラス

(1)テーマでつながる日本語クラス 学習者

参加者 葬儀:15、 防犯:9、 役割:10
 回答数 葬儀 1回目:12、 2回目:8、 3回目:4
 防犯 1回目:5、 2回目:9、 3回目:2
 役割 1回目:9 2回目:6、 3回目:8

出席率

	葬儀		防犯		役割	
1回目	12	80.0%	5	55.6%	9	90.0%
2回目	8	53.3%	9	100.0%	6	60.0%
3回目	4	26.7%	2	22.2%	8	80.0%

1. このクラスにどうして参加しましたか(複数回答可)

	葬儀		防犯		役割	
交流したいから	6	35.3%	5	26.3%	6	21.4%
テーマに興味があったから	2	11.8%	0	0.0%	2	7.1%
自分の国・文化について知ってほしかったから	6	35.3%	2	10.5%	4	14.3%
日本について知りたいから	4	23.5%	5	26.3%	6	21.4%
日本語の勉強がしたいから	6	35.3%	7	36.8%	9	32.1%
その他	0	0.0%	0	0.0%	1	3.6%
具体的に	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

★参加動機では「交流したいから」「自分の国・文化について知ってほしかったから」「日本語の勉強がしたいから」と回答した人が多い。

2. 今日のクラスはどうでしたか(1回目)

		葬儀					
		1回目		2回目		3回目	
① 交流することに自信がついた	5 高い	7	58.3%	3	37.5%	2	50.0%
	4	3	25.0%	3	37.5%	1	25.0%
	3	1	8.3%	1	12.5%	1	25.0%
	2	1	8.3%	1	12.5%	0	0.0%
	1 低い	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	回答なし	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
② テーマについて知識や考えが深まった	5 高い	7	58.3%	5	62.5%	2	50.0%
	4	3	25.0%	1	12.5%	2	50.0%
	3	0	0.0%	2	25.0%	0	0.0%
	2	1	8.3%	0	0.0%	0	0.0%
	1 低い	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	回答なし	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
③ 自分のことや自分の国について伝えることができた	5 高い	0	0.0%	5	62.5%	2	50.0%
	4	0	0.0%	1	12.5%	1	25.0%
	3	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%
	2	0	0.0%	1	12.5%	0	0.0%
	1 低い	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	回答なし	12	100.0%	1	12.5%	0	0.0%
④ 日本の文化や習慣について知ることができた	5 高い	8	66.7%	5	62.5%	1	25.0%
	4	3	25.0%	1	12.5%	2	50.0%
	3	0	0.0%	2	25.0%	0	0.0%
	2	1	8.3%	0	0.0%	0	0.0%
	1 低い	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%

⑤新しい日本語のことばや表現を覚えることができた	5 高い	5	41.7%	2	25.0%	0	0.0%
	4	4	33.3%	2	25.0%	2	50.0%
	3	2	16.7%	4	50.0%	1	25.0%
	2	1	8.3%	0	0.0%	0	0.0%
	1低い	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑥日本人と日本人のやりとりを聞くことが勉強になった	5 高い	5	41.7%	2	25.0%	1	25.0%
	4	3	25.0%	3	37.5%	3	75.0%
	3	2	16.7%	2	25.0%	0	0.0%
	2	1	8.3%	1	12.5%	0	0.0%
	1低い	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
回答なし	1	8.3%	0	0.0%	0	0.0%	
⑦クラスの中でたくさん日本語を使うことができた	5 高い	0	0.0%	2	25.0%	0	0.0%
	4	0	0.0%	2	25.0%	2	50.0%
	3	0	0.0%	1	12.5%	1	25.0%
	2	0	0.0%	1	12.5%	1	25.0%
	1低い	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
回答なし	12	100.0%	2	25.0%	0	0.0%	

		防犯					
		1回目		2回目		3回目	
①交流することに自信がついた	5 高い	3	33.3%	4	66.7%	0	0.0%
	4	1	20.0%	4	44.4%	1	50.0%
	3	1	20.0%	1	11.1%	1	50.0%
	2	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	1低い	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
②テーマについて知識や考えが深まった	5 高い	3	60.0%	6	66.7%	0	0.0%
	4	2	40.0%	1	11.1%	2	100.0%
	3	0	0.0%	2	22.2%	0	0.0%
	2	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	1低い	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
③自分のことや自分の国について伝えることができた	5 高い	2	40.0%	5	55.6%	0	0.0%
	4	2	40.0%	3	33.3%	1	50.0%
	3	1	20.0%	1	11.1%	1	50.0%
	2	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	1低い	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
④日本の文化や習慣について知ることができた	5 高い	4	80.0%	5	55.6%	1	50.0%
	4	1	20.0%	4	44.4%	1	50.0%
	3	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	2	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	1低い	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑤新しい日本語のことばや表現を覚えることができた	5 高い	3	60.0%	5	55.6%	1	50.0%
	4	1	20.0%	3	33.3%	1	50.0%
	3	1	20.0%	1	11.1%	0	0.0%
	2	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	1低い	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑥日本人と日本人のやりとりを聞くことが勉強になった	5 高い	4	80.0%	8	88.9%	2	100.0%
	4	0	0.0%	1	11.1%	0	0.0%
	3	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%
	2	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	1低い	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑦クラスの中でたくさん日本語を使うことができた	5 高い	3	60.0%	7	77.8%	1	50.0%
	4	1	20.0%	1	11.1%	1	50.0%
	3	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%
	2	0	0.0%	1	11.1%	0	0.0%
	1低い	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

		役割					
		1回目		2回目		3回目	
①交流することに自信がついた	5 高い	5	55.6%	2	33.3%	5	62.5%
	4	2	22.2%	3	50.0%	1	12.5%
	3	1	11.1%	1	16.7%	2	25.0%
	2	1	11.1%	0	0.0%	0	0.0%
	1低い	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
②テーマについて知識や考えが深まった	5 高い	6	66.7%	2	33.3%	4	50.0%
	4	2	22.2%	3	50.0%	2	25.0%
	3	1	11.1%	1	16.7%	2	25.0%
	2	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	1低い	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
③自分のことや自分の国について伝えることができた	5 高い	4	44.4%	1	16.7%	2	25.0%
	4	4	44.4%	4	66.7%	3	37.5%
	3	0	0.0%	0	0.0%	3	37.5%
	2	1	11.1%	1	16.7%	0	0.0%
	1低い	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

④日本の文化や習慣について知ることができた	5 高い	5	55.6%	2	33.3%	3	37.5%
	4	3	33.3%	4	66.7%	5	62.5%
	3	1	11.1%	0	0.0%	0	0.0%
	2	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	1低い	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑤新しい日本語のことばや表現を覚えることができた	5 高い	5	55.6%	1	16.7%	2	25.0%
	4	1	11.1%	3	50.0%	6	75.0%
	3	2	22.2%	2	33.3%	0	0.0%
	2	1	11.1%	0	0.0%	0	0.0%
	1低い	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑥日本人と日本人のやりとりを聞くことが勉強になった	5 高い	5	55.6%	2	33.3%	4	50.0%
	4	3	33.3%	3	50.0%	2	25.0%
	3	1	11.1%	0	0.0%	2	25.0%
	2	0	0.0%	1	16.7%	0	0.0%
	1低い	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑦クラスの中でたくさん日本語を使うことができた	5 高い	6	66.7%	3	50.0%	3	37.5%
	4	2	22.2%	1	16.7%	4	50.0%
	3	0	0.0%	1	16.7%	1	12.5%
	2	1	11.1%	1	16.7%	0	0.0%
	1低い	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

★各項目とも4以上の達成感の回答数が多い。

3.この日本語クラスを友達に勧めますか。

	葬儀		防犯		役割	
勧める	12	80.0%	2	22.2%	8	80.0%
勧めない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
わからない	1	6.7%	0	0.0%	0	0.0%
回答なし	2	13.3%	7	77.8%	2	20.0%

(2)テーマでつながる日本語クラス 支援者(回答数 葬儀:8 防犯:3 役割:10)

出席率

	葬儀		防犯		役割	
1回目	5	62.5%	3	100.0%	7	70.0%
2回目	5	62.5%	3	100.0%	8	80.0%
3回目	8	100.0%	3	100.0%	10	100.0%

1. 以下の点について、点数をつけてください

0

	葬儀		防犯		役割		
①自身がテーマについて考えることができた	1.低い	0	0.0%	0	0.0%	1	10.0%
	2	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	3	0	0.0%	1	33.3%	0	0.0%
	4	2	25.0%	1	33.3%	5	50.0%
	5.高い	6	75.0%	1	33.3%	4	40.0%
②学習者の役に立つことができた	1.低い	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	2	1	12.5%	0	0.0%	0	0.0%
	3	4	50.0%	0	0.0%	5	50.0%
	4	2	25.0%	2	66.7%	4	40.0%
	5.高い	1	12.5%	1	33.3%	1	10.0%
③学習支援のしかたについて気づきや学びがあった	1.低い	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	2	0	0.0%	0	0.0%	1	10.0%
	3	2	25.0%	0	0.0%	0	0.0%
	4	3	37.5%	2	66.7%	5	50.0%
	5.高い	3	37.5%	1	33.3%	4	40.0%
④学習者が他の参加者や日本人と協働しながら勉強できていた	1.低い	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	2	0	0.0%	0	0.0%	1	10.0%
	3	2	25.0%	0	0.0%	1	10.0%
	4	1	12.5%	2	66.7%	4	40.0%
	5.高い	5	62.5%	1	33.3%	4	40.0%
⑤普段の学習支援活動のために参考になる活動があった	1.低い	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	2	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	3	2	25.0%	1	33.3%	1	10.0%
	4	3	37.5%	1	33.3%	3	30.0%
	5.高い	3	37.5%	1	33.3%	6	60.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	

★どの項目でも4以上をつけている人が多い。

3.この日本語クラスを友達に勧めますか。

	葬儀		防犯		役割	
勧める	5	62.5%	3	100.0%	9	90.0%
勧めない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
わからない	2	25.0%	0	0.0%	1	10.0%
回答なし	1	12.5%	0	0.0%	0	0.0%

(3)テーマでつながる日本語クラス 交流会(回答数 葬儀:5、防犯:16、役割:9)

1. きょうのセミナーをどこで知りましたか？(番号を○でかこんでください)

	葬儀	防犯	役割
1.千葉市国際交流協会(プラザ)で	2 40.0%	5 31.3%	4 44.4%
2.ちば市政だよりで	0 0.0%	3 18.8%	0 0.0%
3.公民館などのチラシで	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
4.千葉市国際交流協会からのメールで	2 40.0%	5 31.3%	3 33.3%
5.職場で	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
6.知人から	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
7.その他	0 0.0%	2 12.5%	2 22.2%
8. 回答なし	0 0.0%	1 6.3%	0 0.0%
協会情報誌「ふれあい」 フェイスブック			

★「千葉市国際交流協会(プラザ)で」「千葉市国際交流協会からのメールで」という回答が多い。

2. あてはまるものを選んでください(複数回答可)

	葬儀	防犯	役割
1.外国文化に興味がある	3 60.0%	11 68.8%	5 55.6%
2.趣味や余暇の文化に興味がある	2 40.0%	2 12.5%	3 33.3%
3.外国人の日本語学習支援をしている	2 40.0%	10 62.5%	5 55.6%
4.日本語を勉強している	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%
5.仕事でこのテーマに関する知識が役立つ	1 20.0%	1 6.3%	2 22.2%
6.交流したい	1 20.0%	5 31.3%	5 55.6%

★「外国文化に興味がある」「外国人の日本語学習支援をしている」「交流したい」と回答した人が多い。

3. 今後、このようなイベントがあれば参加したいですか？

	葬儀	防犯	役割
1.はい	4 80.0%	14 87.5%	7 77.8%
2.いいえ	0 0.0%	1 6.3%	1 11.1%
3. 回答なし	1 20.0%	1 6.3%	1 11.1%

取り上げてほしいテーマなど、要望があれば書いてください)

将来について
子育て
食
興味のある日本文化
日本で生活するうえで困っていること
働き方
町中での異文化交流・多文化共生

★75%以上が「はい」と回答。

(全体まとめ)

「このクラスを友達に勧めますか。」の設問に「勧める」と回答した学習者、支援者は多く、また、交流会参加者も「今後、このようなイベントがあれば参加したいですか」という設問に「はい」と70%以上が回答しており、いずれも参加した満足度が高いといえる。

学習者では、2回目の交流の回で「交流することに自信がついた」「自分のことや自分の国について伝えることができた」に4以上をつけた学習者が多く、日本理解や日本語運用力の向上とともに、このクラスの特徴である”発信””交流”についても、達成感が高かった。

(4)グループ会話クラス(回答数 1期:8 2期:5)

1 5回という回数はどうでしたか

	1期		2期	
多い	2	25.0%	0	0.0%
ちょうどいい	5	62.5%	2	40.0%
少ない	1	12.5%	3	60.0%

★1期では「ちょうどいい」に60%以上、2期では「少ない」に60%以上が回答

2 1回2時間という時間はどうか

	1期		2期	
長い	0	0.0%	0	0.0%
ちょうどいい	7	87.5%	5	100.0%
短い	1	12.5%	0	0.0%

★80%以上が2時間でちょうどいいと回答

3 クラスの進行はどうでしたか

	1期		2期	
速い	1	12.5%	1	20.0%
ちょうどいい	7	87.5%	4	80.0%
遅い	0	0.0%	0	0.0%

★進行も80%以上が「ちょうどいい」と回答

4 このクラスに参加する前と変わったことは何ですか

		1期		2期	
①日本語を使うことに自信がついた	1 低	0	0.0%	0	0.0%
	2	0	0.0%	1	20.0%
	3	4	50.0%	0	0.0%
	4	2	25.0%	3	60.0%
	5 高	2	25.0%	0	0.0%
	回答なし	0	0.0%	1	20.0%
②日本語で話せることが増えた・これから増えそう	1 低	0	0.0%	0	0.0%
	2	0	0.0%	1	20.0%
	3	2	25.0%	1	20.0%
	4	4	50.0%	3	60.0%
	5 高	2	25.0%	0	0.0%
③いろいろな人と交流しながら勉強する方法がわかった	1 低	0	0.0%	0	0.0%
	2	0	0.0%	1	20.0%
	3	1	12.5%	0	0.0%
	4	4	50.0%	3	60.0%
	5 高	3	37.5%	1	20.0%
④新しい学習方法や道具を知った	1 低	0	0.0%	0	0.0%
	2	0	0.0%	0	0.0%
	3	2	25.0%	1	20.0%
	4	4	50.0%	1	20.0%
	5 高	2	25.0%	3	60.0%
⑤その他		0	0.0%	0	0.0%
このクラスに参加する前と変わったことを教えてください					

★各項目ごとに50%以上がレベル4~5と回答している。特に、③いろいろな人と交流しながら勉強する方法がわかった、④新しい学習方法や道具を知った では75%超えとなる。

3.この日本語クラスを友達に勧めますか。

	1期		2期	
勧める	8	100.0%	4	80.0%
勧めない	0	0.0%	0	0.0%
わからない	0	0.0%	1	20.0%

★60%以上が勧めると回答

(5) 初級文法クラス(回答数 1期:11、2期:5)

1.5回という回数はどうでしたか

	1期		2期	
多い	1	9.1%	0	0.0%
ちょうどいい	5	45.5%	2	40.0%
少ない	5	45.5%	3	60.0%

★ほぼ半数ずつ「ちょうどいい」「少ない」と回答

2 1回2時間という時間はどうでしたか

	1期		2期	
長い	0	0.0%	0	0.0%
ちょうどいい	11	100.0%	5	100.0%
短い	0	0.0%	0	0.0%

★全員が2時間でちょうどいいと回答

3 クラスの進行はどうでしたか

	1期		2期	
速い	0	0.0%	1	20.0%
ちょうどいい	10	90.9%	4	80.0%
遅い	1	9.1%	0	0.0%

★進行も80%以上が「ちょうどいい」と回答

4 このクラスに参加する前と変わったことは何ですか

		1期		2期	
①日本語を使うことに自信がついた	1 低い	0	0.0%	0	0.0%
	2	0	0.0%	1	20.0%
	3	7	63.6%	0	0.0%
	4	1	9.1%	3	60.0%
	5 高い	3	27.3%	1	20.0%
②日本語で話せることが増えた・これから増えそう	1 低い	0	0.0%	0	0.0%
	2	0	0.0%	0	0.0%
	3	4	36.4%	0	0.0%
	4	0	0.0%	1	20.0%
	5 高い	7	63.6%	4	80.0%
③役立つ文法について理解できた	1 低い	0	0.0%	0	0.0%
	2	2	18.2%	0	0.0%
	3	2	18.2%	0	0.0%
	4	3	27.3%	1	20.0%
	5 高い	4	36.4%	4	80.0%
④いろいろな人と交流しながら勉強する方法がわかった	1 低い	1	9.1%	0	0.0%
	2	0	0.0%	0	0.0%
	3	3	27.3%	0	0.0%
	4	4	36.4%	2	40.0%
	5 高い	3	27.3%	3	60.0%
⑤新しい学習方法や道具を知った	1 低い	1	9.1%	0	0.0%
	2	0	0.0%	0	0.0%
	3	3	27.3%	0	0.0%
	4	0	0.0%	1	20.0%
	5 高い	7	63.6%	4	80.0%
⑥その他		0		0	
このクラスに参加する前と変わったことを教えてください					

★各項目ごとに60%以上が4～5の達成度を回答している。

3.この日本語クラスを友達に勧めますか。

	1期		2期	
勧める	10	90.9%	3	60.0%
勧めない	0	0.0%	0	0.0%
わからない	1	9.1%	2	40.0%

★60%以上が勧めると回答

2 取組2 支援者研修(回答数 入門1期:17、入門2期:12、入門3期:14、養成:25、実践1期:8、実践2期:7)

1. 講座の内容はいかがでしたか

	入門1期		入門2期		入門3期		養成		実践1期		実践2期	
とてもよかった	13	76.5%	12	100.0%	12	85.7%	22	88.0%	6	75.0%	7	100.0%
よかった	3	17.6%	0	0.0%	2	14.3%	3	12.0%	2	25.0%	0	0.0%
ふつう	1	5.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
あまりよくなかった	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
よくなかった	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

★90%以上が「とてもよかった」「よかった」と回答

2. 予想していた内容と比べていかがでしたか。①と②からそれぞれ選んでください。

	入門1期		入門2期		入門3期		養成		実践1期		実践2期	
だいたい予想通り	2	11.8%	4	33.3%	1	7.1%	9	36.0%	3	37.5%	3	42.9%
少し違った	11	64.7%	2	16.7%	6	42.9%	12	48.0%	3	37.5%	4	57.1%
全然違った	4	23.5%	0	0.0%	5	35.7%	4	16.0%	2	25.0%	0	0.0%
回答なし	0	0.0%	6	50.0%	2	14.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

②	入門1期		入門2期		入門3期		養成		実践1期		実践2期	
期待以上	8	47.1%	6	50.0%	8	57.1%			5	62.5%		
期待どおり	11	64.7%	6	50.0%	3	21.4%			3	37.5%		
期待以下	4	23.5%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%		
回答なし	0	0.0%	0	0.0%	3	21.4%			0	0.0%		

★50%以上の人が、予想と「少し違った」「全然違った」と回答。しかし、内容は「期待以上」「期待通り」に75%が回答

3. 1回あたりの時間(入門2時間、養成・実践3時間)

	入門1期		入門2期		入門3期		養成		実践1期		実践2期	
長すぎる	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	16.0%	5	62.5%	0	0.0%
ちょうどいい	17	100.0%	12	100.0%	12	85.7%	19	76.0%	3	37.5%	7	100.0%
短すぎる	0	0.0%	0	0.0%	2	14.3%	1	4.0%	0	0.0%	0	0.0%
回答なし	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.0%	0	0.0%	0	0.0%

4. 回数(養成10回、実践3回)

	入門1期		入門2期		入門3期		養成		実践1期		実践2期	
多すぎる	1	5.9%	0	0.0%	0	0.0%	4	16.0%	0	0.0%	0	0.0%
ちょうどいい	12	70.6%	9	75.0%	8	57.1%	21	84.0%	8	100.0%	2	28.6%
少なすぎる	3	17.6%	2	16.7%	6	42.9%	0	0.0%	0	0.0%	5	71.4%
回答なし	1	5.9%	1	8.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

5. よかったことは何ですか(複数回答可)

	入門1期		入門2期		入門3期		養成		実践1期		実践2期	
①仲間ができた	1	5.9%	4	33.3%	4	28.6%	14	56.0%	4	50.0%	2	28.6%
②スキルが身についた	3	17.6%	6	50.0%	3	21.4%	12	48.0%	4	50.0%	5	71.4%
③たくさん話せた	1	5.9%	1	8.3%	4	28.6%	5	20.0%	2	25.0%	0	0.0%
④学習支援活動の意義を捉え直した	14	82.4%	12	100.0%	13	92.9%	21	84.0%	8	100.0%	6	85.7%
⑤多様な意見に触れられた	10	58.8%	11	91.7%	12	85.7%	19	76.0%	4	50.0%	6	85.7%
⑥普段考えないことを考える機会になった	14	82.4%	9	75.0%	12	85.7%	22	88.0%	6	75.0%	6	85.7%
⑦活動に役立つ情報が得られた	13	76.5%	8	66.7%	11	78.6%	19	76.0%	7	87.5%	5	71.4%
⑧活動への自信や意欲は増えた	10	58.8%	7		5	35.7%	12	48.0%	4	50.0%	6	85.7%

★半数以上の人「学習支援活動の意義を捉え直した」「多様な意見に触れられた」「普段考えないことを考える機会になった」「活動に役立つ情報が得られた」と回答している。

3. 取組3

(1) 多文化理解セミナー(回答数 セミナー1:32、セミナー2:29、セミナー3:16)

1. 性別

	セミナー1		セミナー2		セミナー3	
男性	9	28.1%	8	27.6%	6	37.5%
女性	23	71.9%	21	72.4%	10	62.5%

2. 年代

	セミナー1		セミナー2		セミナー3	
10代(中学生)	6	18.8%	1	3.4%	0	0.0%
10代(高校生)	17	53.1%		0.0%		0.0%
20代(19歳~25歳)	1	3.1%	1	3.4%	1	6.3%
30代(26歳~39歳)	2	6.3%	2	6.9%	1	6.3%
40代以上	5	15.6%	9	31.0%	3	18.8%
50代	1	3.1%	6	20.7%	4	25.0%
60代	0	0.0%	7	24.1%	5	31.3%
70代	0	0.0%	3	10.3%	2	12.5%
回答なし	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

3. 今日のセミナーに参加してどうでしたか

	セミナー1		セミナー2		セミナー3	
とてもよかった	21	65.6%	19	65.5%	14	87.5%
よかった	10	31.3%	10	34.5%	2	12.5%
あまりよくなかった	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
よくなかった	1	3.1%	0	0.0%	0	0.0%

★85%以上が「とてもよかった」「よかった」と回答

4. 内容はどうでしたか

	セミナー1		セミナー2		セミナー3	
やさしかった	8	25.0%	6	20.7%	7	43.8%
あまりむずかしくなかった	15	46.9%	15	51.7%	9	56.3%
難しかった	7	21.9%	4	13.8%	0	0.0%
とても難しかった	1	3.1%	1	3.4%	0	0.0%
回答なし	1	3.1%	3	10.3%	0	0.0%

★70%以上が「やさしかった」「あまりむずかしくなかった」と回答。ほぼ理解できている。

5. グループ活動という方法はどうでしたか

	セミナー1		セミナー2		セミナー3	
とてもおもしろかった	21	65.6%	18	62.1%	14	87.5%
おもしろかった	10	31.3%	11	37.9%	2	12.5%
あまりおもしろくなかった	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
おもしろくなかった	1	3.1%	0	0.0%	0	0.0%

★90%以上がグループ活動が有意義であったと回答。

6. 時間はどうでしたか

	セミナー1		セミナー2		セミナー3	
ながい	3	9.4%	3	10.3%	0	0.0%
ちょうどいい	26	81.3%	24	82.8%	9	56.3%
短い	3	9.4%	2	6.9%	7	43.8%

★半数以上が「ちょうどいい」と回答。セミナー3では短いという回答も40%あり。

(2)防犯パトロールキャンペーン(回答数 外国人:6、日本人23)

外国人

1.地域の活動に参加してどうでしたか

よかった	6	100.0%
よくなかった	0	0.0%
どちらともいえない	0	0.0%

★参加者全員が「よかった」と回答

2. 地域の人と話すきっかけになりましたか

なった	6	100.0%
ならなかった	0	0.0%

★参加者全員が「なった」と回答

3. あてはまるものをえらんでください(いくつでもいいです)

まちのことに、話をきくことができた	4
まちの安全のために防犯活動が行われていることを知った	5
パトロールをしながら、話すことができた	4
住んでいるまちで、これからも何かの活動に参加してみたい	4

その他 感想やご意見などお寄せください 0

日本人

1.この企画についてどう思いますか

a賛同できる	23	100.0%
b賛同できない	0	0.0%
c どちらともいえない	0	0.0%
bcの場合理由		

★全員が「賛同できる」と回答

2. 普段、外国人住民と話す機会がありますか

はい	4	17.4%
いいえ	19	82.6%

★80%以上が「普段は外国人住民と話す機会がない」と回答

(1)はいの方 参加外国人と話をして交流できた

とてもできた	1	25.0%
できた	1	25.0%
少しできた	1	25.0%
あまりできなかった	0	0.0%
回答なし	1	25.0%

★半数以上が、「とてもできた」「できた」と回答。「少しできた」も含めると、大体は交流できたといえる。

(2)-1 いいえの方 参加外国人と話をすることができた

はい	14	73.7%
いいえ	5	26.3%

(2)-2 いいの方

外国人住民の存在や暮らしについて知るきっかけになった

はい	13	68.4%
いいえ	6	31.6%

★普段、外国人住民と話す機会のない人も、このイベントで、話すをすることができて、外国人住民について知るきっかけとなった人が多い。

3. 一緒に地域活動をすることに意義が感じられた

はい	23	100.0%
いいえ	0	0.0%

★全員が、一緒に地域活動することに意義が感じられたと回答

4. この企画で、今後に向けて改善点はありますか

はい	15	65.2%
いいえ	8	34.8%

問題の具体的な内容

取組別 アンケート自由コメント

取組1 テーマでつながる日本語クラス

【学習者】

葬儀

- 面白いです。たくさん葬儀について勉強した。
- いろいろな知識を知ることができた。新しい人に会った。面白いことを知った。とても楽しいです。
- このクラスの学び方はとても良いです。(2)
- 日本の葬儀は中国とほとんど同じだと思います。それで、日本の文化や習慣はよく理解できます。
- このクラスがよかったです。もっと参加したいです。日本の勉強の助けになります。
- このテーマは難しいですが、とても興味深いです。
- このテーマはむずかしいです
- このクラスはよかった。もっと参加したい。日本語の勉強を手伝ってくれた。
- 国の葬儀について発表することができて満足・このクラスはよかった。もっと参加したい。日本語の勉強を手伝ってくれた。
- ほかの方の発表も、とても興味深く聞いた。
- いろいろな国の文化をきいて理解した。
- とてもよくわかってよかった。

防犯

- 日本の犯罪は私が知っているのはより多いですが、日本はいいと思います
- おもしろかったです。先生(支援者)はやさしかったです。

- ドラマ作りおもしろかった。
- 今後道を歩いている時に、もっと気をつけたほうがいいと思います。
- おもしろくて楽しくてとても感謝しています。もっとクラスに参加したい
- とてもうれしかった。いっぱい日本語を勉強しました。
- 参加してよかったです。
- とてもよかったです。私には日本語が難しかったですが、通訳の方に助けてもらいました。
- ひたつくりの予防方法をたくさん教えてもらって役に立ちます。
- 自国の紹介ができていい経験でした。日本語が上達しました。たくさんの人の前で話してとても満足しました。
- ためになりました。
- いろんなことを勉強していい経験になる。

役割

- 楽しかった。今日からもうちょっとがんばります
- もっとゆっくり簡単な単語を使って話してほしい。聞き取れません。
- 今日のテーマは楽しかったです。学校と親の役割についていっぱい交流しました。
- このような活動の機会があったらもっと参加したいです。
- 今日のはたのしかったです。(2)
- 学校のいじめについてみんなと話しました。みんなの考えが違って面白いです。
- 日本人とおしゃべりできてよかったです。
- きょうはいろいろな学校の問題を話しました。とても楽しかったです
- 学校の問題についていろいろなことが分かりました。とても楽しかったです

- がんばります。
- ドラマを作りました。面白かったです。
- 支援者は親切で詳しく説明してくれて、正しいことばを教えてくださいました。
- たくさん新しい言葉を学びました。以前に使わない言葉が多くありましたが、クラスのなかでたくさん復習したので、印象に残りました。
- 子供はそろそろ小学校にはいります。たくさん心配がありますので、このクラスに参加できてよかったと思います。
- 今日のスキットはおもしろかったです。日本語でいろいろなことを話しました。
- いろいろな新しいことをならいました。とてもたのしかったです。
- 日本をより知るためにとてもいいクラスです。

【支援者】

葬儀

- 学習者が言葉を発するきっかけ作りや考えるサポートが少しできたと感じました
- 難しいテーマだったが、各国の葬儀に関する情報を興味深く拝聴した。
- 学習者の方が一生懸命調査して説明していることがわかり感激した。
- 自分自身が世の中のことや学習者の気持ちに寄り添う配慮が必要だと感じた。
- 学習者のスピーチについて、いろいろな面でサポートできてよかった。
- 国によって「死、葬儀、埋葬」に大きな違いがある。すべての課題について話し合うことは難しかった。次はもっとトピックを絞って話し合えれば。
- 今まで知らなかった葬儀について知ることができた。とても貴重な話があった。
- 普段の1対1の学習と違うことがあり、楽しかった。(2)
- 初めて参加し、楽しくお喋りをする事ができた。

- めったに聴けない、葬儀というテーマはおもしろかった。
- 参加型学習は、積極的に日本語で話す機会が得られるのでいいと思う。
- 参加者が継続的に参加できるような工夫が必要。
- もっと広報にチカラをいれるとよい。

防犯

- スキットの作成に学習者が自ら考え、シナリオ作り。うまくドラマが作れてとてもよかった
- スピーチは大変だが日本語が上達する1つの方法であるし、他の外国人の日本語を聞くのにとっても良いと感じた。時間も今回の長さがとても適していると思った。
- ドラマ作成は短時間であるのにみんなで協力して作り上げる様子を見て大変そうであったが1人を理解して自分の役を演じることで日本語がとても身近になると感じた。(習得しやすい)
- 外国と日本で犯罪の様子が異なるのがよくわかるセッションであった。ひったくりや置き引き自転車盗難等が多い日本での防犯について知ってもらえる良い機会だったと思う。犯罪に会うことのない楽しい日本滞在であることを願ってやまない

役割

- テーマがどんな世代の人でも話しやすくてよかった。
- 日本の教育制度の中で、日本人も持っている不安を解消する必要がある。
- どのように質問をすればわかりやすいのか、どんな声掛けをしたらいいのか、勉強になった。
- 日本語がほとんどわからない学習者さんに「伝える方法」について考える機会になった。
- 普通に過ごしていたらできないドラマ作りができたりして良い日本語クラスだと思う

- 日本語の学習期間が短くてもスピーチで上手にプレゼンしていて驚いた。
- 普通のマンツーマンでは気づかなかったが、支援者が思っている以上に学習者は日本語を身に着けているということに気づかされた。
- 日本で子どもを学校に通わせる外国の人にとって、「いじめ」の問題は心配だと思った。
- 活動がただのおしゃべりに終わらないように、頭を冷静にしていけないといけませんが、とても楽しく参加できた。
- 通訳としてのお手伝いでしたが、どのくらい通訳してよいのかよくわからず迷ってしまう。
- ステップ1で、先生と親の関係について踏み込んだ話があったことで学習者の関心が高まったようだ。
- 参加者には学齢期の子どもを持たない人が多かったが、この話題に関心が高く盛り上がったのは新たな発見であった。
- 日本と海外での違いを発見しました。学習者はいろいろな違いに気づいたと思います。

【交流会参加者】

葬儀

- 具体的なテーマに分けて、段階を経て積み上げていったら大変興味深い議論になる。
- 深いテーマだった。知りたいことはどんどん広がる。考えさせられた。万国共通なのは、亡くなった方を悼む気持ちを表すということ。人間としての共通点なのだろう。
- いろいろな葬儀の考え方があり、今、日本の葬儀に疑問がある自分にとって自信がついた。
- 土葬があるのにびっくり。もっと聞いていたかった。

- 仏教徒なので仏教関係についてはわかるが、キリスト教イスラム教などについては知らないのと、同じ宗教でも国や地方によって違いがあることがよくわかった。
- 参考になった。人との交流は大切だと思う。
- それぞれの文化の違いが日本人として参考になった。
- 発表のしかたに工夫があった。
- 発表者は可能な限り日本語で話したほうがよいと感じた。
- 時間の配慮を含めてスムーズな運営が必要。

防犯

- 幸いなことではありますがスピーチの内容が緊迫した被害に基づくものではなくちょっと物足りなさを感じた。
- グループ活動はとても良い。隣の家の人は知らないと言う人が多いコミュニティでの防犯アップにまずは挨拶して知り合う事だ
- 学習者の方から日本人の防犯意識が弱いと思うという意見も聞いた。たくさん日本語で話せて充実した時間を過ごせた。
- たくさんの日本人が参加してくれてとても内容の濃い時間が過ごせたと思う。
- 外国の防犯について知ることができ大変良かった。中国台湾の人でも必ずしも漢字で意味が通じるとは限らないことがわかったのが新発見だった。
- 日本の犯罪と他の国の犯罪は似ていると思った
- 久しぶりに学習者にあい、昔教えていた頃を思い出したなごやかな雰囲気でも楽しくコミュニケーションができた
- ゲストの外国の人々の防犯についての感じ方や考え方を知ることができグループでのディスカッションも楽しくできた。引き続き参加したい。

- ・ ゆうは何しに日本へなど外国人との交流番組も多い。それだけ国際化が進んでいる。こんなに身近でたどたどしい日本語で会話する機会は貴重で千葉市で良い生活を願わずには居られない
- ・ 外国の方に発言機会を多くして司会進行の巧みさを感じた。
- ・ 台湾中国エジプトニュージーランド出身国の違いにより防犯会の対応考え方が色々であり多様性を大事にすべきと感じた。
- ・ 痴漢の人を乗り合わせた電車の人たちがみんなで犯人を警察に引き渡しということが素晴らしかった。
- ・ 日本全体の傾向だがいろいろな国の人が参加して日本語を勉強している環境は素晴らしいと思う。特に英語圏の文化に興味があるので交流の場が増えれば良いと思う。
- ・ いろいろ意見を交換できてよかった。外国人の考え方日本人の考え方違う意見を知り理解度も深まりとても有意義だった。
- ・ 防犯に関する言葉がいくつかあり外国人には少し難しいが必要であるので良い機会だったと思う。
- ・ 各国の防犯情報を聞くことができた。参加者の熱心さを感じた。
- ・ 中国では赤ちゃんが盗まれると言うのを聞いて本当に悲しく思った。自分の子供が盗まれたり振られたりしたら本当に悲しいしその人の人生も赤ちゃんの人生も狂ってしまう。

役割

- ・ 国によっていじめの対処方法が違うのが面白かった
- ・ 自分が悩んでいることお話ししたりいろんな解決案をだしあいしたりしてとてもためになりました(フィリピン)
- ・ 学習者とボランティアの連携が印象的だった

- ・ みんなが協力的で暖かい雰囲気があった
- ・ 国によっていじめの対象方法が違うのが大変面白かった自分が悩んでいること話したりいろいろな解決案を出し合ったりしてとてもためになった
- ・ 子供や若い人がたくさんいる国の学校の様子が新鮮に感じられた
- ・ 学校でのいじめ問題日本ならではの問題か。国によって対処方法も違う
- ・ 子供のいじめの問題に集中しているグループもあった。このような特定のテーマに絞った方が良かった
- ・ いじめが1番問題なことにびっくりした

取組 1 グループ会話クラス

1 期

【外国人】

- 日本語をどのように勉強すればいいか、どうすればいいか、日本人の友達ができるのか、私が日本で出来るものはあるのかなど悩みがありました。公民館とコミュニティセンターなどいろいろな方法を教えてくれて。徐々に日本の生活が面白くなりそうで期待が膨らみます。
- 新しい言葉をたくさん勉強しました。時間が短いのもっと話したいです。
- たくさん単語を勉強しました。テーマがおもしろいです。
- このクラスはとてもいいと思いました。ボランティアと学習者がよくサポートしてくれたので楽しくできた。
- みんな集まっての話、すごく楽しかったです。新しい友達のみな、よろしくお願ひします。
- 文の作り方を勉強しなくちゃ。
- 新しい勉強方法は役に立つ。
- とてもおもしろくてとても役に立ちました。英語の先生になる私の夢に向かって、英語のように、漢字の読み書きをします。
- いろいろ話をしたり、説明したり、練習したり読んだり、いっぱい勉強しました。(2)
- 家でたくさん復習しました。よくできたと思います。スタッフに感謝します。電子アルバムを作るのはとても好きです。
- パソコンの使い方がわかりません。時間がかかりました。
- クラスの他の学習者の夢を知るのはとても楽しかったです。頑張ります。

- 日本語の勉強だけではなくいろいろな国の事を知りました。今日が最後の日でさびしいです。
- 外国語を勉強するのはとてもおもしろい。
- いっぱい日本語を覚えました。
- みんなの夢を聞くのは今日初めてです。興味があって楽しかったです。
- 皆それぞれ夢があり悩みがあり、この世界はおもしろいです。
- 夢について考える事は、生活においても大変役に立ちました。なんだか励まされて力がつきます。笑顔も増えました。5回全部参加できなかったのは残念でしたが、2回だけでもみなさんとご一緒にできて幸せです。

【日本人】

- ボランティアの人がもう少し参加するといいなと思いましたが、会話は弾んで楽しい時間が持てた。
- おもしろい課題。作品を作るとなると、ちょっと難しそうだが完成が楽しみ。
- 時間があつという間にすぎ足りない。日本語が結構わかる人とあまりわからない人が一緒にいて分からない人へのフォローが足りなかったかも、と少し感じました。話の中で「その言葉はどういう意味ですか」と学習者から質問が何度かあったのが良かったと思います。
- 初回なのでグループの人を知ることに心がけた。
- 今回は大変むずかしかったです。事前情報は知っていたのだが、初めての経験でよくわからなかったので、学習者が成果物にたどりつく過程を想定するのに時間がかかりました。研修ではなく学習者への貢献が求められているので、きちんと役割を果たしたいと思いますが、毎回自分の想像力の貧しさが情けないです。
- 今日はやることが順調に進んで学習者の方々も達成感が少し感じられたと思う。自分もいろいろ刺激になり楽しかったです。
- 今回は日本語力が高い人たちとの作業でした。みな課題の内容をよく理解して

話せていてとてもよかった。文章は助詞の使い方以外はとてもよくできていた。次回の作品も楽しみです。

- 学習者が、言葉が出て来なくて周りの方が教えた時、自分の言葉で伝えようとしているところがすばらしいと思いました。今日のテーマについて、しっかり伝えられていなくて途中までわかっていない方がいてきちんとフォローできてなかったことに気がついた。もっと早く気付いてあげられるように気をつけたいです。学習者同士が話す機会が少しあったのが良かったです。
- 2人、新しい人が参加した。会話は多少出来るが考えを文章にすることができない。用語が分からないことが多い。(語彙不足)
- このところ一人の学習者の専任のようになり、他の学習者のほうには申し訳なく思っている。効率の悪さを痛感しつつも、まじめで熱心な学習者を大事にしくちゃというのも正直なところ。どんな作品が出来上がるか不安と楽しみが半々です。
- 学習者が回を通して出席しないので、毎回同じことをしている感じです。全体のイメージが今ひとつわかりにくいです。
- 今日は学習者と一緒に作業しました。彼女はとても日本語が上手で作業もスムーズでした。自分の作業が全くできない不安です。
- 今日は皆さんと更に打ち解けて楽しい時間を過ごせました。パソコンがうまくできず困るときもありましたが、協力して何とか乗り切りました。
- 日本語を引き出す時どこまで待って、どこから助けを出してあげるのがいいのか悩みました。
- プロジェクトとして全員が共通のものを完成させるという今回の試みはコミュニケーションをとる上で大変興味深く毎回楽しんでおります。今回一緒にした学習者の夢については、その内容をつめることになり、日本語の広がり話しあう方が多くて、結局課題をクリアできない羽目になってしまい申し訳ないと思います。
- 進め方がよかった。
- パソコン作業など初めての経験もありましたが、とても楽しかったです。こういうテーマで会話や日本語の勉強をすると、とてもよいと思いました。またこれを題材にクラスをもてるといいと思います。シェアの時間が少ないのが残念

です。シェアの時間があれば外国人の言葉などの理解がもっと深まると思います。

- 今日は参加者も多くてうれしかったです。久しぶりに参加した人もちゃんと作品が出来上がりよくまとまっていた。すごいと思いました。参加者の人のもっとすごいと思っています。結果が形になるのはやはりいいですね。
- みなさんの色々な夢の話を聞いて、わくわく楽しい気持ちになりました。夢について話すことで違った形で日本語の学習になったのではと、いいクラスだと感じました。学習者同士が興味を持って話しされる姿もよかったと思います。ご一緒できた事がありがたいです。
- 学習者全員がそれぞれ工夫をこらして、すばらしい作品群ができあがったと思います。時間がかなり詰まっていたので無理だったかもしれませんが、一作品を2回ずつ上映すれば一回目であらすじを理解し2回目ですべて使われている言葉について考える余裕が生まれるのではないのでしょうか。何を作るという共同作業を通じて言葉を理解するというおもしろさ、楽しさがよくわかりました。

2期

【外国人】

- きれいな日本語で手紙が書けるようになりたいです。
- 今日初めて来ました。みなさんに会えました。楽しかったです。このクラスおもしろいです。そして楽しいです。来週ぜひ来ます。
- いっぱい勉強した。ボランティアはやさしい。このクラスを続けてほしい。楽しかった。
- 初めてここで日本語を勉強しますがいろいろな事を話せます。新しい言葉、会話するのがおもしろくて楽しかったです。
- 役に立つ導入クラス。基本的な日本語の質問や会話の始め方などがカバーされていた。私の日本語は初級レベルなので、ボランティアやよく日本語ができる人に、ずっと助けてもらいました。
- 今日、またこのクラスがあつてうれしいです。私は日本語で会話することにどんどん楽になってきています。皆さんや特に先生に助けていただいて、このク

ラスでたくさんのお話を学ぶことができました。

- とても楽しいクラスでした。ボランティアも先生もとても忍耐強く助けてくれました。新しい単語を学べるのはいいことです。
- とてもよく系統たてられたクラスで、一緒に活動したボランティアは良かったです。私の日本語会話力もうまくなるといいなと思います。参加して良かったです。
- 基本を知らずには難しい。助けになるそしてやさしい先生。質問して答えてもらったし、たくさん言葉も習った。
- このクラスは便利です。いいボランティアがいるのでとても楽しいです。楽しいです。また来週。
- わからないことをボランティアがゆっくり教えてくれた。今日も楽しかった。
- 想像しながらいろいろ考えてたくさん会話しました。よかったです。
- 基本的な文法、動詞の活用を学習した。文書の中に「～したいです」の使用方法、基本的な命令形とその回答（例えば、知りません）
- 日本語を活かすこと、理解することはとても難しいので、より一層勉強しなくてはなりません。いつもボランティアが近くにいて日本語の学習を助けたり導いてくれたりすることに感謝します。
- 今日たくさん新しい単語を学んだ。私のグループメンバーはとても頼りになるしよく助けてくれました。
- より多くの単語や新しい文章を学んだ。皆ががんばって私のために読んでくれた。より多くの文章を学び、誰かと話す練習が必要。
- 勉強が難しかった。
- 初めて日本語教室に来ました。おもしろかったです。たくさんのお話を教えてくれたので良かったです。
- ボランティアはいい方向性を与えてくれます。楽しい学習が待っています。
- たくさんのお話と構文。私の「お話」に直結している単語を学習できることはよいと思った。

- 他人の作文を聞いてみんなすばらしいと思った。私も頑張ります。やはり日本語は重要ですね。
- 発表する時緊張しましたが楽しかった。
- 各プレゼンテーションの後に先生が主導するディスカッションが好きです。ディスカッションがより活気つきます。
- 例を通じて構文を説明してもらった。知らない単語を細かく説明してくれた。
- みんなと二時間で日本語を勉強しまして楽しかったです。
- 5回目のこの日本語クラスで勉強しました。役に立ちました。
- プレゼンテーションは、良くできたし日本語でコミュニケーションを取るよい活動だと思った。コースを締めくくるには面白い方法だと思った。

【日本人】

- 日本のいいところを見つけ日本が大好きになって日本を訪れたということ。日本人としてうれしく思いました。
- 日本語がよくわからないけど、一生懸命話そうとしているのが感じられた。いろいろな外国語と触れ合いたいです。
- 要領がつかめずすみませんでした。学習者と楽しい時間を過ごせました。
- 皆さん、積極的に発言、質問されているのでよかったです。和気あいあいといい会だと思いました。いろんな考えを聞くことができるのもよかったです。
- 日本語のレベルがいろいろだったが、それぞれががんばってたくさん吸収していたように思った。ゼロレベルの人が一人いたので、フォローがもっとできるとよかったです他の学習者さんの力を借りてなんとかなったような気がする。
- 学習者に夢をきいていくだけではなく自分の夢まで考えていなかったなので、私には夢がないと驚きました。
- 話をうまく引き出す、導くことができなくて時間がかかってしまった。
- 学習者たちは少しずつ日本語に慣れてきています。楽しそうに勉強しています。

- もう少しボランティアがいるといいと思いました。いつもはボランティアが多すぎる事が多いですが、今回がゼロレベルの学習者もいるのでうれしい悲鳴。ゼロレベルの人へのアプローチをもっと学びたいと思いました。これからもっと大きな夢の話をして皆、楽しくできると思います。
- たくさん日本語で話しましたが、なかなか話が膨らまず。最後の最後にどんどん本人の中でイメージがわいてきた感じでした。
- 今日は雑談になってしまった時間も多かったが、たくさん学習者の人が話していたのでよかったと思う。ボランティアが少なくてどうなるかと思っていたが、大丈夫だったと思う。
- それぞれの日本語レベルできれいにお話がまとまっていてよかったと思いました。
- 発表のために言葉を調べた。
- 今日は紙芝居という形になり、みんないきいきと発表できた。準備でもだいたい話ができている。ホワイトボードで語彙の確認ができたのもよかった。
- 今日の紙芝居の発表は、おもしろかった。一生懸命準備してよくできた。
- それぞれの日本語レベルできれいにお話がまとまっていてよかった。発表のために言葉を調べ勉強されているのも、その時間をもてるのも、この会話クラスのよさだと感じた。
- 学習者の夢を一人ひとり紙芝居でいねいにプレゼンテーションができたことは、とても日本語の勉強になったと思います。
- 片寄らず、幅広く日本語が学べて他の人の話し方また新しく学ぶ日本語もあって、このクラスでの活動はとてもいいと思います。知らないでいる方がまだまだいるのでアナウンスがもっとできたらいいですね。
- 学習者の日本語でのスピーチはとてもよくできたと思う。質問への対応も勉強になったと思います。
- 学習者の日本語のレベルがまちまちなので全体の指導が難しかったと思います。でも一人ひとりの学習者にとってはいい経験になったと思います。
- 今日は4人、きちんと文章にして発表することができて、その後質問コーナーもその人なりのレベルで理解していこうという意欲が見られたと思う。5回全

部出られた人は少なかったけど、たくさん会話する事ができてよいクラスだと思えます。

取組1 初級文法クラス

1 期

【外国人】

- 少し簡単だった。もう少し文法的な内容が欲しかった
- 前より話す自信が持てました
- 日常生活の日本語についてよく理解できました。もっと日本語勉強したいです。もっと交流のチャンスを作ってもらいたい。
- 変化はありましたが、あまり向上はしませんでした。

【日本人】

- 最後の動詞のグループがよく理解できなかったように思います。勉強してきたと思います。
- 動詞の活用グループに分類するのがまだ理解が充分ではありません。少しずつ理解できてきているように思います。
- 毎回とても楽しい時間を過ごさせていただいています。
- 今日はいつもと違って上手にお話できました。とても新鮮でよかったです。何げなく使っている日本語ですが今日この機会に参加させていただき日本語を若干日常の中で意識するようになると思います。
- 最後の日の一部に参加させていただきました。初心者のレベルがわかり参考になりました。自分の教え方に自信が持てました。

2期

【外国人】

- みんなで勉強できてとても嬉しい。学習者同士で助け合ったり単語を解釈したり。講師はとても丁寧で温かい印象を受けた。とても感謝します。
- 先生はとても親切で、雰囲気良かった。
- このクラスはとても役に立つ。私が知っているものを見直しだし、新しい友達もできた。来週も楽しみです。
- とても楽しく一緒に勉強できた。以前は動詞や文法の変形の理解は浅かったですが、学習を通して動詞をたくさん覚えられたし動詞の変形も理解できました。とてもいいコースです。
- このクラスは便利なクラスです。そして、日本語を練習することができます。いい先生がいますから、とてもおもしろいクラスです。来週、是非来たいです。
- 今日、1時間勉強しました。でも便利な文法が分かりました。いつもいい先生がいますから。
- 前は休んだ。でも今回も講師がいつものように親切でやさしい。また毎回新しい知識を勉強してすごくうれしい。
- 今日もおもしろいクラスがあります。
- 今日便利なクラスがあります。
- 今日苦手な動詞について勉強しましたが、とても楽しくできました。ボランティアのみなさん、親切に指導してくれて。次回も参加したいのでよろしくお願いします。

【日本人】

- 考え方がわかりやすくていいと思いました。学習者が考えて発言するのは覚えるのにとっても役立つと思いました。
- ほんの少しの言葉の違い、使い方も大きな疑問になることがはっきりわかり楽しかった。

- 会話の中で学習者が一つひとつ言葉の意味を確認しながら覚えていくことがとてもよかったと思います。
- 今日はボランティアがたくさんいたので、学習者の人もたくさん日本人と話せてよかったのではないのでしょうか。レベルが違ってその人のレベルで今日やったことを理解していると感じました。ボランティアは待っていることが大事だとすごく感じました。
- 辞書形、Ⅰグループ、Ⅱグループ、Ⅲグループその他忘れてしまったのか？初耳なのか？私自身の勉強が必要そうです。一つでも理解して帰っていただけるようにお話できるといいなと思います。
- 学習者が一生懸命辞書（スマホ）を使いながら一つひとつ言葉をおぼえて行くことが良かったと思います。
- いつもの日本語と違う「ちゃんとした」日本語を話すのでとても緊張しました。いつも使う単語が難しく感じました。
- 「て形」は難しいですね。「②～でいます」「③～てから」がもう少し時間があるといいなと思いましたが、文法ばかりになってしまってもいけないでしょうし、いろいろ考えてしまいました。一緒にやった学習者はまだローマ字で書きながら頑張っていました。
- 日本人として意味を考えず自由に使っていた言葉も一つひとつ考えながら使うと、想いのほか戸惑うこともあり自分の勉強にもなりました。
- 「～していただけますか。」は日常よく使う表現なのでぜひ身につけていただきたい表現ですが、変形が難しいようです。簡単なフレーズを使ってバリエーションを増やしてほしいと思いました。「～で」と「～で」が難しいようです。
- 学習者がサッカーを教えるために言葉をおぼえて実際に使う練習ができ実践に役立つことができてよかったと思います。
- 「て形」は覚えることが、難しいと思っていたので歌で学ぶことは効果的だと思いました。ネイティブのすごさを実感しました。
- 話し言葉と書き言葉の違いに戸惑っている感じを受けましたが、私たちにとって何でもないことがとても大変なこと。これは私たちが外国へ行っても同じと思える学習者に「Never give up!」と言いました。自分にも言い聞かせました。

- 「～ない形」を覚えることで否定表現が出来るようになり「～と思います」を覚える事で会話の幅がぐっと広がるので初期に身につくとお話ししやすくなると思いました。街中にあふれる看板に注意をむけるのもよい学習法だと思いますので、私も探してみたいと思います。
- スマホを使った辞書検索を学習者が行い、大変便利な機能で、他の学習者の方にも教えて参考になったようです。
- 外国人にとって私たちが普通に話している英語はとても難しいことなのだと改めて感じました。でも、今日の授業はとても楽しかったです。これからやさしい日本語について考えたいと思いました。
- 最初は戸惑うこともあったけれど普段考えずに使っている日本語の難しさとおもしろさが分かってよかった。外国の方に伝わるよう「やさしい日本語」を使って話をするのも新鮮でおもしろかった。いろいろな話をしたり聞いたりするのに楽しかった。
- 今日はクラス中に自分のパートナーが決まったので急ぎょ中に入れていただき。脱線がやや多かったけれど学習者と料理の話がもりあがったので良かったです。
- 日本語でやさしく易しく優しく。本当に難しいが言葉が豊富にあることは楽しいことでもあるかもしれないと感じました。この講座に参加してよかったとつくづく思いました。
- 全5回の文法クラスでしたが、1つの例文からふくらませて表現をおぼえて行く手段をとると、自分の生活範囲の表現が身についていくので良いことだと感じました。宿題をみると学習者の生活背景がみえてくるのでお話をふくらませやすいので、私も取り入れたいと思います。
- 学習者が日常生活で使う日本語を話すことで楽しかったという感想を聞いて今後もこのような日本語クラスがあったらいいなと思いました。
- 「もし～たら」は英語の仮定法でも苦労したので同じように考えているかなと想像しました。職場体験で参加した中学生たちの優秀さにも大変驚きました。

取組2 支援者研修

入門講座 第4期

1回目

- ひととしていることがとても大切だと思った。
- 相手のよいところを尊重し、教えてもらう姿勢が大切だと思った。
- 「対等」「肯定」「コミュニケーション」に気づいた。
- 言語を教えるというのではなく、相手の日本での生活の楽しみや苦労を聞いて共有できることが大事と感じた。
- 日本語学習支援の目的について、より深く考えるようになった。
- 「対等の立場」ということばがとても印象に残った。「教える」という姿勢ではなく、しっかりと相手の方から発信をしていただきながらこれからボランティア活動をしていきたい。
- 外国人の役に立ちたい、という思いがあって受講したが、どこかで教えたいという気持ちがあったように思う。外国人はボランティアの生徒ではない、パートナーであるという言葉が印象的だった。
- 日本人の生活が、目に見えない外国人労働によって成り立っている部分があるということにびっくりした。
- たくさんの意欲的な方と話をする機会に恵まれ、刺激を受けた。

2回目

- 「共感」ということばが心に残った。
- しっかり話をきき、相手が発言できるまで忍耐強く待つことが大切。それが今の私に欠けているところかも。

- 実習で、自分がひたすら自分本位にしゃべる方だな、と思った。
- 改めて、相手の気持ちに寄り添うコミュニケーションの大切さと難しさを学んだ。
- 人と共感しあえたときの喜びもひとしおと感じた。
- 日本語を教えることとコミュニケーションを学習支援の中でどうつなげるのかを考える必要性を感じた。
- 最終的には相手が心を和ませてくれればそれがよいと感じた。
- 自立支援なのだというのを忘れないようにしたい。
- 「聴くこと」を実践したい。

3回目

- これから「共感」「待つこと」「対等な立場」をキーワードに [日本語学習者と] ともに学んでいきたい。
- 相手が言いたいことを引き出すことに専念する
- 実際にどのように学習支援をしていくのか具体的な話があって 有意義だった。
- 日本語が母語なのに、思うように単語が思いつかないこともあり、意識的に勉強していかなければ。
- 日頃まったく経験しない言葉の確認、ゲームなど新しい感覚で 改めて日本語を見直し、学習者の視点で学ぶ体験は有意義だった。
- ボランティアとは奥の深いものだった。
- どういう構成で学習を組み立てるか、イメージが湧いた。
- 学習の相手との相性もあると思った。
- アイディア次第で学習者も楽しみながら日本語を発話する機会が作られることを改めて実感した。
- やさしく表現することは特に日常から訓練が必要な気がした。

- とにかくマニュアルより相手にわかりやすく伝えることが大切だと思った。
- 大変参考になり、今後に活かしたい。時間が足りなくて残念。

養成講座

- ボランティアは常に日本語を教える事であると考えていました。教える事もあるがそれよりももっと大切なことがある事を知りました。いろいろありますが、自律、共生か？
- このようなボランティア講座にでると気付かせられることがあってとてもうれしい。勉強になるし実践したくなる。ボランティアをしている間にまよってわからなくなったりすることがあるので受講することで自信が持ち直せる。前に受講した内容であったが前回とは違う気づきがあった。
- 初めて講座に参加しましたが、抱いていたイメージと違いました。日本語の教え方がわからないので、技術を学ばなければと考えていましたが、ボランティアに求められているのが対等なコミュニケーションと知り安堵しました。ボランティアの相手に未熟な技術で申し訳ない気持ちがずっとあったからです。
- 語学は何とかなると思っていたので、それよりコミュニケーションスキルの方が大切だと知り、不安になりました。社会状況を知ることも大切なことだと感じました。新しい知識を得る楽しさも知りました。今までより少し視野が広がったかな？
- コミュニケーションの成立要件の再確認できた事。日本語支援ボランティアとして横のつながりが出来たらと思っています。
- グループミーティングによる他のメンバーの方々の経験・考え方に参考になる点、感心する点あり。コミュニケーション3パターン実習が、おもしろく参加できた。
- 聴く、待つ。相手に多く話させることが大変、重要だということがよく判った。
- コミュニケーション。日本語教育ではなく対話と考えることが大切。それにしても、ボランティア活動に積極的な人がずいぶん多いですね。

- 自分の中であまり触れたくないと思っている事、例えば日本のコミュニティーの中での外国人の方の置かれている立場等、学習者とは話題にしなくても頭の片すみに止めていた方が良いのかと思った。色々なことを理解しながら深刻に受けとめる事なく楽しく取り組んで行きたいと思いました。
- 萬浪先生の指導の仕方がとても勉強になります。今回のグループの皆様、とても感じがよく安心しました。勉強内容はなるほどと思うことが多く、これからもボランティア活動の役に立つようがんばります。
- 教える側、教わる側と別れてしまうのではなく相手が外国人でも日本人に接すると同様コミュニケーションを気持ちよく取れるようにしたい。何について話すか。話題を豊富にしなければ。
- 外国人の日本社会に於ける重要性。ボランティアの意味(日本語教師との違い)。気付き、傾聴の意味、重要性
- 日本語ボランティアはコミュニケーションスキルを高め相手と平等な立場でいることを心かける。双方向のコミュニケーションが大事。同じような悩みを持っている方もいらっしゃるって安心した。
- すべて学んだことは私には新しいアイデアで興味深く心よいものでした。岩本さん藤井さんの協力もあり有益でした。
- 改めてやさしい日本語で話すことはむずかしいと実感した。寄り添い、共感するがよりよいコミュニケーションをとる手段であると再確認できた。
- 前回お休みをしたので、今日このような学習のやり方に驚きました。実際に役立つ事ばかりで実践したいと思います。
- 自分のペースでなく、相手の興味のある話題、相手のペースに合わせることが大切と知りました。日本語も自分の使い易い言い方ではなく相手に分かり易い言い方に変えることの何と難しいことか…言葉を意識して使っていきたいと思いました(日常でも)
- 寄り添いの意味を広く理解する事の重要性。
- 実習体験が新鮮。対話が進むのが分かった。4人のメンバーの異なる意見が聞けて良かった。やさしい日本語への翻訳の難しさ。
- 今回のキーワードに「寄り添う」ボランティア・日本語教育＝教育・指導だと、

ばかり思っていたのだが、そうではない。「一緒に考える」これが基本だ。引っ張ってばかりもダメ！勝手にやらせるのもダメ！

- 「寄り添う」事が待つ、聴く、共感する事につながって行く様に感じました。心がけるだけではなく、自分なりに実践して行きたいと思います。学習者さんとの会話が楽しくなりそうです。
- 学習者に分からないことがあったら英語で説明するつもりだった。だが、それでは日本語をいつまでも話せないで分かり易く具体例や簡単な言葉に言い換えられるなどが大事。
- 相手に寄り添うことを考える。やさしい日本語で話すことを心掛ける。絵・実物を使って理解を深める。
- 相手に「寄り添う」の意味を自覚する。過度に反応しない。
- 他文化共生は非常にむずかしいしデリケートな問題だと感じました。良く考え話し合って適時・適切に対応して行こうと思います。
- バーンガゲームの素晴らしさ！自己を知るいい経験になった。多文化教師は難しいと思った。文化の違いを認めることはできるがそれを共生することは個人個人によるのでいろいろと勉強して挑戦していきたい。
- 前半ゲームを通して自分の考え、知識が他人にとってもふつう、当たり前ではなくお互いの考え、常識を共有し認めあることが必要だと思いました。今、日本語支援ボランティアを始め、数ヶ月なので、実際に行動にうつせるようにしたいと思います。
- バーンガゲームのルールの受け止め方が千差万別なのに驚きました。別の言葉で相手に伝える事のむずかしい。バラエティに富んだ授業で楽しいです。
- 多文化共生のむずかしさ(どこまで介入したら良いか)、マズローの欲求の確認(相手の気持ちを深く考えてみる)、相手のことを思いやり対等に接する事ができたら良いと想う。
- バーンガゲームとても面白かったです。私のグループは元からいた人との勢力図によってルールがかわりはじめ、最終的には崩壊、混沌状態になりゲームは中断しました。話せないからお互いのルールの説明がていねいに行えなかったことが原因。つまり、コミュニケーション不足。多文化共生の具体的な行動の仕方を理解できた。相手の文化について傾聴し自分の文化についても話すこ

とで溝をなくしていく作業だと思う。

- 相手の国を知るという事は良い事だと思いました。連想ゲームが面白かった(伝え方を考える)。トランプゲームは3回ほど廻りましたが、そのテーブルによって違ってしまっていて(ルールが)本当のルールがよくわかりませんでした。いろんなテーブルを廻ったので楽しめた。
- バーンガゲームで違うルールの中に放りこまれ気づかなかった自分を発見しました。他者との違いを知ることは自分自身の許容範囲を広げることだと感じました。今週は違いに注目して自分のふところを広げられたらなあって思いました。
- 多文化の共生とは日本文化の押し付けでなく又多文化の無条件の受け入れでも無くお互いに許容範囲を自然に作って行く事。
- ルールの違いがある場合に、違う相手に対して数が多い時は強圧的な態度で接してしまっ。2回目、逆に少数派になった時は、苦笑いしながら従ってしまっ。3回目は、同意を笑顔で得ながら最終のルールを推進。
- 本日の特筆は「バーンガゲーム」に尽きる。日本人同志の中でも理解に差が出てくるのに気づいた。まして外国の方々とは大きな差が出てくる(ある)のは、ある種、当たり前のことかなと思った。「イチゴ」の例も面白い。独占的な私には良い薬だ。
- 「バンガー」楽しかったです!!まわりがみんな日本人でもつらかったです。これが外国人の中に一人だったらと想像すると心細い気持ちになります。状況にたいして柔軟な気持ちで対応できたらと思った。思いこみ、信じ込みは危険ですね。
- 連想ゲーム、バーンガゲームでの文化の違い、環境への適応を体験でき良かった。押しつけをしないようにしなければと思います。多文化共生では、日本文化を押しつけず、強制しないという事を学びました。意識しないで押しつけている事もあるかも。
- トランプゲームを通して自分の知っているルールが共通認識ではない違う文化を持っているということを理解した上で、押し付けるのではなく、あなたのところでは、こうだったのね、ここではこうなんだよと、やさしく伝えることの大切さを知った。
- いきなり「X」とやったのではやられた方もいい気はしない。相手を否定する

ことをなるべくしないで、こうなんだよと伝える。

- トランプのゲームを通して国による文化の異なる人達が、ルールの異なる文化の中でどの様に生活していくかとてもむずかしいことだと思いました。自分が良いと思って日本語ボランティアのとき、日本文化を押しつけているかもしれないと思いました。
- 日本語の難しさとボランティアの意義
- まず楽しい研修グループ。一つの事に対して多角的に見る大切さ。再度多文化という事に心を寄せて考えてみたい。
- 初めてのゲーム、2種類楽しかったです。いかに異文化と共存していくか大きな問題で答えも出ずにいるが、最後に行き着くのは「多文化共生」の一言につきる。しかし難しいし深い。自分も、たった一つにすぎない。
- 文化の多様性を尊重し過度の干渉は控える。空気をよみ、謙虚にもの事を受け入れる。
- 今回のトランプゲームで私はルールがみんな違いとは最後まで全く気付かず、自分には柔軟性が欠けるのかもしれないと気付きました。
- 連想ゲームは子供とよくやるのですが、より引き出しを多くすることに役立つと思いました。
- 前回ゲームを通して自分の考え、知識は他人のとってもふつつう当たり前ではなくお互いの考え、常識を共有し認めあうことが必要だと思いました。今、日本語支援ボランティアを始めて数か月なので実際に行動に移せるようにしたいと思います。
- 外国人との話し合いは大変楽しく、又勉強になりました。お互いにゆっくりはっきり間をとって話し、理解する事が大事だと感じました。
- 助詞を抜いて話すとてもよく考えてゆっくり話すことになることが驚いた。学習者はもちろん情報を絞って話さないと理解しづらくなると気付いた。今回は漢字圏の学習者だったが、基本ジェスチャーでわかりやすく話すことが必要だと思った。
- 来日一ヶ月のひらがなの読み書き出来るだけのマックさんに感情の「せつない」「つらい」を説明するのはとても難しい。一つの例だけでは片寄ってしまうので

いろいろな例をあげる必要がある。名詞の説明は絵でもつうじるけれど感情の説明はむずかしい。

- 日本に来て3カ月の学習者さんだったので、やさしい日本語にしてみてもなかなか説明できなかったです。もう少しレベルに合わせた日本語を使えるようにしたいと思います。また、今回は質問を多くしてしまったので、もう少し待つように努力しようと思いました。
- 日本語を覚えて頂く時、単語で説明するよりも生活に沿って言葉を引き出していく方が理解しやすく感じた。あまり例題を出しすぎるのも学習者が混乱する時もありそうでした。
- 学習者がやさしい日本語・単語も知らない場合、日本語での説明が本当に難しかった。一つの単語について、こちらでも多角的にとらえられていないと説明できない。英語ができる方と学習者が英語で話す場面が多く、英語ができない私はあまり学習者と『コミュニケーションがとれずに終わりました。学習者が英語の説明に理解できるのか日本語のみで理解できるのかも分かりませんでした。話に入れず少し苦痛な時間でした。
- 実習をしまして、日本語の教えるむずかしさが分かりました。ゆっくり話す事それに近いものを言ったり絵を書いて説明することが大事だと思いました。
- 学習者の日本語が不自由で大変でした。英語が上手な人にたよってしまい、言葉が続かなかった。残念です。
- 短い文のして行く事、ゆっくりと話すこと、分かり易い例、を注意して行きたい。
- 学習能力・経験に差があることを実感。対応をどうすれば…今後の課題。
- 学習者を前にして、質問の意外さに驚き一つ質問。説明し合いながら理解を深めるのが、楽しかった。
- 学習者によっては全く(殆ど)、日本語単語持っていない人も居る。ゆっくり、やさしい言葉で身ぶり・手振り、お絵かきと他の手段も駆使することも必要だ。次の日本語ボランティア教室では、「ゆっくり」「はっきり」「短く」「間をとって」学習者に接しよう!
- ボランティアの人の学習者に対する気持ちの違いに驚いた。ボランティアと学習者ではボランティアする方が「立場が上」と言う発言に少々驚き…。講座

で常々ボランティアと学習者は平等な立場と萬浪さんがおっしゃっていると思うのですが…

- やさしい日本語で通じないときは、言葉を入れかえ、例えや絵、ジェスチャーなどを交え、ゆっくり、はっきり伝えたい。まちがって理解していないかの確認も大切だと思います。
- 日本語学習者に日本語を説明して味覚や感覚的に言葉を理解してもらうことが大変なことだと思いました。今日のジンバブエのアモスさんは来日5ヶ月なのに発音も理解力も高く楽しい練習でした。
- ケルシーさん参加。やさしい日本語と言っても学習者に単語力がなければ難しい。実習では英語を使ってしまった。スマホの辞書で調べていたが、同じスマホを使うなら写真を見せるなど工夫できると思う。
- 相手のバックボーンを知ることの大切さ。
- 多くの人で話すと学習者が多くを理解しながら混乱に落ち入ってしまう事が感じられた。すぐに絵を活用するより言葉で説明するとお互いに新しい言葉や理解が生まれると感じた。
- 学習者の方(ミャンマー)との実践は、とてもイミがあったと思う。やはり、相手の顔、声をきいてコミュニケーションすることの楽しさは机上では得られないと思う。
- 「人と人」大事ですね。そこに言葉のツールはなくてはならないもの。難しくもあり奥が深くもっともっとこちらが勉強しないといけないと責任を感じました。
- 物の説明で形容詞の意味の深さを感じさせるのが難しい。間の取り方を工夫しないといけない。
- マックさんを交えての勉強会、途中でまどろっこしくなって共通語でどんどん教えて行った方がいいのではと疑問に思ったが、ジェスチャーやさまざまな例の中に、マックさんが新しく学んだ言葉もあったりして、すぐ共通語を使ったり絵を見せてしまうより学びがあるのかもしれないと思いました。
- 来日間もない学習者にやさしい日本語を使って伝えてもなかなか伝わらず、絵やジェスチャー、英語を伝わらないことがわかりました。事物ではなく感情や気持ちを説明するのがとても難しい。具体的な例をたくさんあげないと理解し

てもらえない。

- 簡単な日本語とは何かをさらに勉強していきたい。母語以外は分からない人への対応。
- 話のテーマは特別な事ではなく、日常的な事の中にある事に改めて気づきました。具体的なテーマをつなげていき会話を進めて行きたいと思います。
- 今日はトピック作りを学んだと思います。一般的なトピックもいろいろありますが、世の中の変化で常に変化していると思います。常に新しいトピックを考えるようにしたいと思います。
- 話のネタ作りはいいが難しいことがわかった。お笑い芸人の気持ちがわかった！！グループだと話のアイデアが広げやすいが1対1だと話のネタ作りの準備や努力が必要だと思った。話を広げるにはいろんな知識が必要なので自分の興味ないものも見聞きすることが大事を感じた。
- 好きな物の表は相手を知るのにとってもよい手掛かりになり、話題が際限なく広がる。開いた質問・閉じた質問を考える。宿題・課題の参考になる資料を探す（挿し絵などで、食べ物、色紙、生活、遊び）
- トピックを考えるワークで身近な話題でも様々なことが出てくることにびっくりしました。さらに、それに対して小刻みに質問を重ねると話題がつきないなあと思います。オープンクエスチョンとクローズドクエスチョンを上手に使っていきたいです。また、皆さんのアイデアを見て自分では思いつかないのでとても面白かったです。
- オープンクエスチョンとクローズドクエスチョンがある。どうしてもクローズドクエスチョンをしてしまうのでオープンクエスチョンに上手に切り替えられる様話のネタを広げる様努力したい。トピックについてはとても有意義でした。
- ボランティアをしている時この質問をしてもいいだろうか？気分を害するタブーのようなことはないか？と質問に迷うことがあるけれど、初めにお互いの好きなものなどの話をしてコミュニケーションを深めると人となり、考え方などがいまみえ、質問もうまく選択できると思った。困ったら今日出たトピックを使おうと思う。
- 今日は話すきっかけで距離感が近くなりました。キーワードはトピックスを考えて相手に転回をして話を広げる。よく話を聞く事。分からない時は他の言

い方をしてみる。

- 相手を知るために、色々なトピック、質問を考えておき、また、伝わらなかった時に他の質問の仕方をおく必要を感じました。宿題いっぱい！
- トピック作りとオープン質問とクローズドな質問の組合せ。色々な角度からの質問を考えて行く事。
- 立ち上がりにグループでお互いを発表し合うことで、その後のコミュニケーションがとてもうまくいった。これをボラでも生かしたい。質問は両刃の何とかで相手の様子を見ながら選ぶ必要がある。同じようにネタは、予備の練習に留めて実際の場では相手からネタをもらう（ヒントをもらう）ようにもってきたい。こちらからあまりよいしなない方がよいと思う。
- 自己紹介（好きなこと、はまっていること、得意なこと、苦手なこと）を12書き出す方法で、相手、自分の大袈裟！壁が取り払われた。トピック作りは、無限（大袈裟！！）の可能性あり。質問は安易にしないことも大切との意見、貴重。
- 話のアイデアマップはとても良い方法でした。トピックを作ることが出来てひらいた質問がわからない場合にとじた質問を作ることによって話を広げることが出来る方法を知りました。
- 通常の生活パターンの中に無い「日本語学習支援」が楽しく又意義（意味（？））のあるものと段々考えられるようになってきた。学習者から支援者方々のバックグラウンドが異なり、そのことを理解し、尊重してボランティアに当てれば良いと思う。「その人ならではの」を支援に生かしたい。
- 普段、学習者さんに自分がどんなふうに質問しているのか、あまり意識した事がなかった。オープンクエスチョン、クローズクエスチョンという言葉に出会い勉強になりました。両方の使い方、勉強したいと思いました。特別な事だけトピックではないなあと思いました。
- オープン、クローズの質問は納得です。ネタはどこにでもあると思うが学習者の話の中から、見つけて行うようにできれば良いと思う。「伝わった！うれしさは次の一歩」何度も体験したいです。
- この講座を始めてから「話のネタ」を探したことはあったが、「質問」まで思い至りませんでした。今回「オープンクエスチョン」「クローズドクエスチョン」を学んだので質問作りに挑戦してみたい。

- オープンクエスチョンと「クローズドクエスチョン」の違いを初めて知り大変勉強になりました。小出の質問を多く準備したいと思います。出来ればボランティア活動に生かされたいと思います。
- 質問を固定化せず、答も固定内容を望まず、会話の中で言葉をおぼえて行くと楽しい関係が出来ると思う。
- ネタ探しは、特別の事ではなく、普段の何気ないことからたくさんあるが、やはり衣食住に関する事は、一番いいのが独創的でよい。話は、きっと笑いも加わりうなずきもしやすい話となりそのコミュニケーションから学習へともしつがるのなら、すごいと思った。また、その段階ではないですが。
- 相手のバックグラウンドを理解しそれに同化するのではない。共通項を見つけたず努力をするそれを発展させていく。
- トピックとするテーマは具体的に身近なところにあるということ。質問が伝わらないときはやさしい日本語で話すことももちろん小刻みな質問で答えやすいように導くことが大切とわかりました。
- 学習者さんが興味を持つ食生活に関連のあるトピックを選んでオープン・クローズドクエスチョンを工夫しながら実践して行けば有意義に楽しく日本語学習を展開できることを学習できました。こちらの努力、工夫していくのみです。
- 相手が話しやすいトピックを考え質問の順序は、開いた質問から始めとした質問に進めて行くことが大事である事が分かった。テーマ（トピック）から発展させる図のシートは教室活動で使ってみたい。トピックから発展した質問により相手の人柄や背景が分かり親しみを感じるようになると思った。
- 自分の語彙力に名詞と動詞、形容詞の表現が少ない事に気づいた。普段から単語で連想される動詞と形容詞について考える事にしたい。
- 過程が大切。楽しむことが大切。発想が乏しい（語彙）
- 学習からの質問に対しては全部答えようとせず学習者にも調べてもらい共に学び解決する。この進め方はしたことがなく自分が調べ相手に伝えてばかりいたことを反省した。
- 単語を集めることにより、学習者の会話力を上げることは楽しい作業なので教室活動の中で取り入れてみたい。文明の利器も大いに活用すべき…といく事が分かり早速利用してみたい。

- 本日感じた事は次の通りです。①相手のための質問をする。②相手に調べてもらう（なるべく自分はさぼる）③自分の語彙の少なさ（発音が少ない）学習者に対して①②を心がけていきたいと思います。
- テーマを決めて思いついた事から名詞・形容詞・動詞の分け方はとても参考になりました。辞書・スマホをすぐ使わず調べる過程を努力して学習者とコミュニケーションをとるようにやってみます。教える側とは喋るだけではなく学習者が話せるようにもっていきたい。努力してみます。
- 「学習者に何でもカンでも一から十まで 100%正確に直ちに答えなければならぬ」と強く義務感を持って臨んでいた。今後は学習者の自主性に期待しよう！語彙を増やすのに「連想ゲーム式図式化」が楽しくて知らず知らずのうちに効果が期待できる。これは早速、今度の学習教室で皆とやってみよ〜っと！
- ボランティアの困りごとを解決する方法として私の場合どうしても英語で説明したりすることが多かったので改めて他の方法も導入していく努力をした。中国人学習者の発話を聴いて日本語として「単語がたくさんある。話そうと努力している…」と内容面に注目する人など人によってとらえ方が違う事に気付きました。
- 語彙の増やし方も多めにヒントになり、今後活用させていただきたい楽しい方式で新発見です。
- スマホを購入予定なので google 翻訳を試してみたい。辞書を使うのはダメかと思っていました。調べてあげるのではなく調べてもらえば一緒にいない時でも学習者自身で解決できるようになり良いことだと思う。アイディアマップでは 語彙を増やすのに非常に有効だと思います。毎回気づきがあって充実しています。
- 学習者さんの「考える、調べる、話す」を大切にしたい。自分は、「待つ、楽しく聞く」を大切にしたい。
- 伝えようとする気持ちを持つと聞きとろうとする心も生まれる。一つの言葉から連想範囲を柔軟に広げられるように、単語の数も多くおぼえる。
- 今日モビデオやらゲームは面白かった。楽しかった。特に「ビデオ」1対1の担当の学習者だけに気持ちが入りやすいが実はもっと大きく広げている外国人の生活者がいてそのバックグラウンドは様々です。固定化した感情にならぬよう気を付けたい。勉強になりました。

- 自分はさぼって相手に調べさせる、外の日本人に聞いてもらう。なるべく日本語でしゃべる。相手のことは相手に聞く（違いがわかる）
- 相手と対等な関係で居続けることを忘れない。一人で背負い込まない。聞く・聴く力も大切。何とか相手の発する言葉・感情を理解しよう、受け止めたいという気持ちを持って共にいるようにしたい。グーグルのこと、ゲームのことさっそく試してみたい。ゲームは家族友人いろいろなタイプの人とやってみるとおもしろい（発見がありそう）
- 学習者さんからの質問になるべく「知らない・わからない」態度を取ろうと改めて思いました。そこで学習者さんが主体的に調べると、きっと教えてもらうよりも覚えると思います。その後わかったことを話してもらうようにしようと思います。また自分の語彙が少なかったので意識して広げたいです。
- 相手のことを考えた内容で対話するようにする。ある主題を元として語彙を拡大していくようにする。
- 学習者の日本語レベルによって相手がわかる語彙や google 翻訳器を使うのは時には必要に思うがあくまでもボランティアは日本語を使うことを徹底した方がいいと思った。語彙を増やす広げることは大事だがその方法手段をどのように日頃見つければ良いのかを知りたいと思う。
- 語彙を増やすシートは勉強になりました。自分は何でも先に話したがりのでなるべく学習者に話してもらうようにする。何といたっても語彙を増やす事。
- 自分のテクニックを研ぐことにばかりとらわれていた自分に気づいた。相手を楽しませ自分も楽しむことも大切なんだ！ボランティアに対して自信をなくしていたけれど先ずはやってみることが大切だったんだと気付いた。
- 学習者が分からないことは先ず学習者に調べてもらう。日本語会話の支援が主体であることを常に意識する。
- 学習者の環境を考えながら意欲を共生しながら引き出して行きたいと思います。そして動詞から語彙を広げていける様勉強したいと思います。
- 学習支援では今まで「自分か用意するあるいは調べる」ということが多かった。これからは学習者に頼むということを実践した。
- 今は日本語ができなくても翻訳の機械で用はすむかも…。だが、機械では得られない人と人とのつながりを大事にすることが学習を進めて学んでいく上で

大事だということを理解しました。語彙が多ければなんとか言いたい事が言えるという事は私達が外国語を学ぶ上でも役立つ事です。

- いろいろな「レヌカ」がいる事を認識して「奥にある」ものを見つめること。カリキュラム案を作って日常生活に必要なことを理解していくことをやってみたい。イメージ→体験→ことば→発展的な活動に結びつけていけたらいいと思った。
- 実際の学習支援活動で、幼稚園へ持っていくお弁当作りや専門学校の面接など、幅広く学習者さんよりしつもんされます。その際にただお弁当作りの本と一緒に見て話すだけではなく、文化庁のホームページも使いながら支援のやり方も工夫したいと思いました。なるべく体験と一緒にしていこうと思います。教材の工夫は必要だと痛感しています。
- 文化の違いより、考え方もかなり学習者と違う事もあるけれど学習者よりいながら異文化共生をめざしたい。いろいろな教材を勉強、活用を心がけてみたいと思います。
- 異文化を理解する。相手のニュースに合った教材で学び、できれば生活の中で実践してみて感じた事を話したい。
- スマホで機能を試しました。パソコンにはない機能でした。文化庁のサイトを見ます。
- レヌカゲームは、自分の勝手なイメージで物事を判断してはいけないと思った。逆に学習者さんが日本に持つイメージを聞いてみたいし、何にびっくりしたかを知ってみたいと感じた。又、生活に添った課題を取り上げるのは重要だと思う。生活は毎日の事なので。以前UKで洪水が起こったら何を最初にするかというQ&Aで各国違う反応が面白かった。その為有事の時相手の国では最初何をするかを知りたいとも思いました。
- 自分の経験の大小の蓄積が自然に相手を理解する事につながり、易しい日本語に置き換える事も出来るようになると思った。お互いに異文化という事はあった時から判っている事だと思う。
- 文化庁のこの「カリキュラム」の存在を知らずびっくり。さすがに様々な分野の問題提示があり、とても有意義だった。もちろん「言葉」も大事。それだけではない「実例」を発表へとつないで、「考える」作業へと導けるようにするには、勉強し見聞を広めなきゃ。

- 私達とは異なる文化背景をもった人たちに対してワクはめた見方をしないようにすることが大事だと思いました。文化庁 HP に日本語教育に関する教材がたくさんあるようなのでそれらを見て参考にできることがあれば学習支援者に対して利用してみたいです。ゴミ捨て一つでも外国人の方には大変であると思いました。
- 思い込みがあって国によって生活が違うので相手の生活内容を聞いて日本の生活に慣れるようにアドバイスを。日本の生活で困る事を聞いてみる。
- ゴミ出しについての発表を聞いて。不特定多数を相手にする時、地元のせまい範囲の学習者を相手にするときはこちらの対応も変わる、変えたいと思う。レヌカさんは人の数だけ存在する。→反応、意見も様々だからその人なりの意見を大切にしたい。私（こちら）ももっと広く情報を集め知識を増やして受け皿を少しでも大きくしていけたらと思う。
- 学習者が何を知りたいかをよくふまえて活動を組み立てて説明していくことの大切さ対話をよくすることが大切。
- ボランティア側がすべて説明してしまわずに学習者さんの自主性をうまく引き出すようにしたいと思います。「支援」とは本来「何もしないこと」なのかもしれません。改めて学習支援のあり方を考えてみたいと思いました。
- 学習者のニーズに合わせてアドバイスを。防災関連も知ってもらう。病院の場合順序を考えて知らせる（忘れ物がない様に。）
- 生活に添ったテーマで掘り起こす重要性を強く感じました。海外生活で最初に困ったのが買い物と病院だったのでその点をふまえて、学習者さんの不便な点を解消できると良いと思う。テーマ選びはかなり具体的にしないと壮大な話になってしまって情報発散しがちなので焦点を絞るようにしたい。
- ベトナムのリンさんご紹介させていただきました。私何もかも決めてしまうのではなく寄り添いながら期待に応えたいです。
- 外国の方との会話では、相手の経験を生かして話す。相手の知りたいこと、心配な事は？ 相手の気持ちを大切に（相手の活かす）
- 心に余裕を持って笑顔で対話できるようになりたい。どうしても「教えよう！」という気持ちが芽生えてきてしまうが、私は指導者ではなく、ボランティアという立場を再度頭に入れようと思いました。

- 身近な出来事で具体的な流れをきめて活動の組立ができる事を学び組立の中が広がりました。また、学習者のニーズに合った活動の組立をしてみようと思いました。
- 学習者もボランティアも楽しむことの大事さ。おしゃべりの中には色々な情報があるので、互いの興味ある事を引き出し、出来るだけ言葉のキャッチボールをする事。
- 台湾の張巧慧さんとの会話が大変楽しく元気を頂いた。5年間日本に住まれているが、地域社会との交流が少なく日本語に接する機会も少ないのが残念。学校便りは 80% ママ友会話 30% の理解度とのことに。何とか支援できる仕組みは作れないかと思った。
- 好きなことシートは色々活用できるので単にその人が好きな事を知るだけでなく文系練習中でも取り入れ会話を楽しいものにすることができると思った。中国人の方が参加して分かったこと。日本語の先生とは、話すこと聞くこと書くことについてあまり困らないが、日本人ママさんは話す速度が速いこと、言葉が、自分が学習したことと違う表現になるので一緒に話すことはない。日本人の友達ができないことが分かった。相手の興味のあることを分かりやすい日本語で会話をすることと再確認した。
- おしゃべりは学習者さんにも楽しいこと。生活に近いことが分かりました。私たちはボランティアなので、日本語教師ではないこと。その特徴を生かすために楽しく！をキーワードにやってみたいと思いました。私自身が会話を楽しめるかどうかの問題が…
- 学習者の前でボランティアがお喋りする場合、むずかしい日本語、考え方についての会話には説明が必要なので気をつける。解りましたか？ではなく話した事、理解した事をもう一度学習者に話してもらうのはとても良い方法だと思います。
- 学習者との協働セッションは毎日とてもいい勉強になる。日本人ボランティアの欠点（直すべきところ、見直すところ、改善、注意等）がわかるし、学習者の苦手な部分があって今後の活動に役立つ。ついひとりの人が学習者につきっきりになってしまうので、できれば日本語レベルの高い学習者は日本語ボランティアのパートナーの交換は常時する方がいいように思う。
- 「おしゃべり学習に変える」というテーマで、学習者さんと実際にお話をしました。学習者さんの日本語レベルに応じて、話の内容自体を身近でわかりやす

く可視化しやすいものを選ぶと良いと思います。話がわからない時の不安な様子からわかった時の嬉しそうな顔に変化すると、こちらまで嬉しくなります。楽しんで学習につなげたいです。

- 好きな物だけ聞いてもそれから言葉の展開ができ新しい言葉、日本の文化も聞くことができる。
- 中国からのサイ ユーさんの日本語を学ぶ姿勢におどろかされた。初めて聞く新しい日本語（九州、福岡、運動会、しょぼしょぼ、寒がり…）をメモし意味を尋ね答えを求めてくる。「寒がり」の場合は意味を理解し「あつがり」という言葉まで理解し「私はあつがりでの日本の家は嫌いです。」との言葉が出てきました。見事です。
- 協同セッション。ハルピン出身、異文化にふれて面白かった。文化庁の資料ダウンロードがうまくいかないのを教えてください。
- ボランティア同士のロールプレイでテーマが？になり観念的な話になって心配したが（学習者に理解、聞き取れそうもないかと）その中で学習者自身が興味のポイントをキャッチし反応してくれたので結果悪くはなかった。何事もムダな事はないと思う（学習者にもよるが）。敬語、文法にこだわる学習に対して。学習者の能力、将来の必要性など確認して方向方法を了解しあうのも必要と気づかされる。
- 何でも要望に答えるだけで良いというものでもないようだ。
- 相手との会話にヒントが一杯あると思います。学習をおしゃべりに、おしゃべりを学習にすることができるようになりたい。今日であった江くんの意欲一杯ですがすがしい学びの様子にエールを送りたいです。
- 学習者に話す機会をなるべく多く設ける。話してもらうことより、その学習者の理解度の会話力が判ってきて次の学習支援に継げられる。一方向の会話ではなく双方向の会話を心かける（傾聴）。ボランティアは日本語教師ではない。
- 火曜日にベトナム人のリンさんの学習活動をしました。「みんなの日本語」を学校で使っているなのでこのテキストで学習したいともらってこられました。私はその時使い方が分からなかったのですが、今日の講義を受けて暗記する言葉を変えとか「好きなものシート」から項目の言葉を表現する方法を学んだ。文法を教えるのは日本語教師の仕事であり、ボランティアの役割は会話中心でよいと聞き安心しました。

- 中国からの女学生さんでした。日本にいられて毎日6時に起床近くの海や公園まで散歩し朝食をしっかり頂いて一日がスタート。日本語の勉強にもその姿が有り、着実に学んでおられる。学習者さんからの話題提供。主になってご自身が調べ報告してくださる学び方。会話は良かった。

• グループ活動、あるいはボランティアとしても体験談はさまざま。感じ方、受け止め方もちがう。ただ、一つ大事な発見は活動をやればやる程自分以外の体験の仕方を実践できるので、一人でも多くのボランティアの人と交流して実話、トラブルを聞きたい、十人十色は学習者だけではなかった。はたしてめざすものは同じかな？（今日の内容からははなれました）

- 母語話者同志の会話を聞いてもらう機会をつくる。意味ある内容をできるように、引き出して会話してもらう。同じ内容でも応用したもので言い換えて発話してもらう練習をする。
- テキストの会話例文を暗記して実際の生活にそった会話に膨らませる方法は、今後 lesson につなげていきたいと思う。聞きとれていても特にカタカナは理解度が低い場合もあるのでメモを取って確認するのも需要だと感じた。日本語学校の先生との会話はわかりやすいが、普通の日本人の会話が難しく日本人との会話の choice を求めている学習者さんも多いのではないかと思います。
- 好きなことシートを応用して学習からお喋りに持っていける範囲の広さを感じました。どうしても私の場合は学習者にお喋りをリードされている時があり、考えさせられる時があり学習者の意欲と環境がかなり左右するのを実感しています。これからはシートを応用してチャレンジしたいと思います。
- 学習者のニーズ、何を望んでいるかをつかまないと学習効果にも影響すると思いました。今まで勉強してきた「やさしい日本語」、「待つ」事の重要性を再認識しました。また、学習者の人達が日常生活において日本語を話す機会が少ないことを感じました。
- 学習者の日本語能力が高く、学習者とのコミュニケーションは比較スムーズに行った。しかし、日本人ボランティアの数が多く日本人のしゃべる時間が圧倒的に多かった。
- 好きなことシートを使ってやさしい日本語で説明する学習者がどれだけ理解しているか、話したことを言ってもらい確認する。説明は出来るだけ動きのあるものであるエピソードで可視化して話をするのが大事であること。

- ボランティア養成講座に出席させていただき、何時も心が耕されます。自分がそのように注意してボランティアをさせて頂いていると余り悩まず済みます。スムーズに学びが進めさせて頂ける様努力して参ります。
- 現実にあるケースの学習の為、皆、各々自分のケースを紹介し合った。人の経験が聞けて良かった。
- 座学だけかなと思っていたが、実用的な行動が多くとても良かった。
- 思ったよりグループワークが多かった。
- 実践が多かったので考える時間がしっかりあり、身についた。
- グループでの活動が主だった。
- もっと堅苦しいと思っていた。
- 認識が変わりました。
- 学習者が主語を学ばせて頂いた。
- 教科書の文型などからどのように会話に発展させていくかの手法かと思っていた。
- 講習内容が楽しかった。
- 教え方や文法を学べると思ったが、ボランティアにあるべきことが学べてよかった。
- 考えさせることが多かった。
- 「日本語教授」の方法講座かと思ったら、傾聴も！驚いてしまった。
- ボランティアの姿勢など、多文化共生の考え方を頭ではなく実体験のような形で指導していただいてとても嬉しかった。
- 自分は自己中心的だった。
- 活動へ「の安心」が増えた。

振り返り

1. 今回の養成講座でいちばん印象に残ったことは何ですか。

- 常に学習者の立場（国、文化、問題点、課題）に立って自立させることのお手伝いをするという事。主語は学習者。
- 話のネタは身近な所にたくさんあるということ、本人に好きな物シートを作ってもらったり広告を利用したり…日本語がほぼわからない状態でも言葉つなげていかれるといくこと。待ち時間の重要性。
- 学習者へのアプローチの仕方。国、人種、文化の違いを知識としてもっておくことの重要性。
- 生活者としての自立を目的としているということ。
- 国による文化やルールやバックグラウンドの異なる人達に日本語を支援することはまずボランティアと学習者が対等の立場にあることの認識が大切であるということ。このことが、夫や子供に対しても多々反省材料になりました。
- マズローの欲求5段階説。人間は欲求の生き物。バーンガゲームから気づかされた思い込み！話のネタ作り、1対1よりグループで交流するとネタ作りは不要だしニーズに基づいた活動も楽しい。
- 協会を訪れてボランティアを必要としている人達の背景や何を求めているのかを把握することが大切。それを知った上で自分がどのように協力していけるかを考える。良い意味で「ボランティアが楽をする」と言うこと。学習者からも学ぶことがたくさんある。
- 日本語ボランティアに求められていることは、学習者と対等な立場でコミュニケーションをとること。そういう意味では「日本語学習」というのはコミュニケーションをとるための1つのツールであるといえる。
- 日本語ボランティアは単に日本語を教えることだけではないということを理解しました。また、教えるための文法知識があまりなくてもかまわないことがわかりました。
- 自分がさぼって相手に調べさせる。ゆっくり話すこと。相手の国を知る。
- やさしい日本語で日常生活に役立つ学習支援ができれば良いと思っていたが、色々なカリキュラムやシートの活用方法があって勉強になりました。その中で、一番心に残るのは翻訳機などのツールで、ある程度、会話などは成り立つとい

うこと。やはり、ボランティアの役目は学習者のニーズに合わせてのコミュニケーションではないかと感じました。

- 傾聴が大事である。
- ボランティア同志の意見交換が出来たこと。学習方法の工夫。話題を広げる方法。テキストや文化庁の取り組み。
- ボランティア活動をしている人、しようとする人など積極的な人がナント多いことか！千葉に来た外国の方は幸せだ。
- 教えるのではなく共に学ぶこと
- 「いいですね」の言葉（萬浪先生の笑顔も）対等な立場で自立して、地域社会で生活していくことが目的。
- 学習者のニーズに沿った支援が必要（重要）
- 地域の日本語教室の活動内容に関して、出来ていることもあるが、今回の講座の内容を受講したメンバーが少なく、自分としてはどのように生かしていくか考えさせられた。国別による偏見をなくす。教科書のみならず会話型になるように工夫し、学習者が日常生活の中でいかせることが大事である。学習者側に立ってその人が欲求するものの手助けをすることが大事。
- 今、担当している学習者は日本語ビギナーの方で、ほとんど日本語ではなく英語でした。やさしい日本語で伝え合う工夫、努力は全く頭になかった。ある程度日本語ができるようになってから日本語で説明という意識があったことが良くないと気付いたので今後は改めて行きたい。
- ボランティアは教えるのではなく対等である。バーンガゲームでのルールを同じ人から聞き同一民族にも関わらず受け止め方の違いに驚きました。私のテーマで好き嫌いはお互いの自己紹介にとっても良い方法で今後も取り入れたいと思います。
- ボランティアがなるべく「さぼる」という言葉がとても印象的でした。日本語学習「支援とは何か」ということを改めて考えることができ、良い機会となりました。今まではボランティア側が一生懸命働きかけているイメージがありましたが、自立に向かう学習者をまずは大きな気持ちで見守ろうと思います。
- 色々な支援の形があるがやはり基本は人と人のつながりで教えることにこだわ

らず学習者の声、思いに耳と心を傾け添っていくことが大事と再確認できて、私でも続けていけそうな気がした。萬浪さんの説明は例えもよくとてもわかりやすかった。何となく…わかっていることでもきちんとした説明、分析をしてもらえと気持ち（頭の中）にストーンと入ってきて何度も「目からウロコ」を経験したことか。

- ボランティアとして学習者の学びたい気持ちを大切に寄り添っていくこと。楽しく学べたと喜んでいただくこと。ボランティアは教育者ではない。対等であること。
- 座学も大切だが、ボランティアは経験の上に立って日本紹介も一つ大きな使命かと思った。
- 「レヌカの学び」私達と異なる文化・歴史的な背景を持った一人一人異なるレヌカがいること。お互いを見つめ理解して行くことが大切だということ。

2. 今回の養成講座で新しく知ったこと、気づいたことをできるだけたくさん書き出してください。

- 共に考え、共に感じる。押し付けないこと。助けすぎない。先走らない。本当に困っていることの原因は何なのかを深く広く考える大切さ。自分は学習者の立場にたったらどうなるのか？を常に意識する。グループ対話で世界が広がる。学習者をまじえての実習で、5年間日本にいてもママ友の会話3割しかわからないとのコメントに対し何かできないかと気の毒に思った。
- 「バーンガゲーム」、常識の異なる人間が集まった時、おとしどころをどこに求めるかの大変さと大切さ。「レヌカ」ゲーム：自分の常識にとらわれすぎて思い込みで話を進める危険性。好きな物シート：自分の好きなことを話す時は、伝えたいルールでいろいろなことを話そうという意識付けにつながる。やさしい日本語での表現：「やさしい日本語」はゆっくり話すことではない。意識しないとつい難しい表現を使ってしまう。テキスト会話の広げ方：テキストの会話をどのように利用するのかを考えずそのまま読んでいたが汎用性に富み学習者のレベルに応じていろいろな会話が作れる。
- 日常的な出来事の中から、学習者を中心に発話出来るようサポートしてあげる。種々なツールを利用して楽しく会話できるようにする。
- コミュニケーションの大切さ（相手の興味をキャッチする）。外国人が増えて

いる社会状況。他者との違いをしり、許容範囲を広げること。相手を楽しませ自分も楽しむこと。サポートする教材もたくさんあること。

- 感情的な言葉、味覚の説明のむずかしさ。話のアイディアマップはとても良い方法でトピックを作ることが出来て、閉じた質問を作ることでも話を広げることが出来る事を知りました。一つの言葉から連想することで名詞、動詞、形容詞を増やすことで語彙を増やすことが出来る事を知りました。「レヌカ」がいること。奥にあるものを見つめることの大切さを知りました。カリキュラム案を作って日常生活に必要な事柄を理解する方法を知りました。体験から言葉を発展させた活動にしていけたらいいこと。学習者のニーズを知られば話が盛り上がり、学習効果はある。好きなことシートを使ってやさしい日本語で説明する。話したことを言ってもらい理解を定着させる。可視化して話をするのが大切。
- 一番は思い込み。人間がいかに自分中心に動いている（考えや行動、気づかい、欲求その他）か、分かった。自分がなぜ国際交流センターに来たのかボランティアをしているのか、各種の講座に参加して交流を他の人と持つのか。それはマズロー説に全て匹敵していて自分を分析できた。悩んだり迷ったりした時はマズローとバーンガゲームが今後の活動にヒントを与えてくれそう。
- 学習者の方が上手に話していても実際には色々な事が理解できているか（理解と算出）。生活言語と思考言語。歩みよる事。日本、日本語を見直すことが出来た。
- コミュニケーションが主におかれていた講座だったので外国人のみならず普段の日常生活で活かせることをたくさん学べた。自分でいろいろ考えたり、他の人の考えを聞いたり考えを交換したりして、あまり意識していなかった自分の感情、考えに気付くことが出来た。人前で話すとか発表するとかあまり機会がないので、いい意味で緊張したが練習になった。
- ボランティアは「教える」・「説明する」ことだけを行うのではないことに気付きました。学習者に主体的に動いてもらうことが大事だと思いました。そのためには①学習者の発言を待つ②ボランティアが説明しすぎないことに心掛けていきたいと考えます。そして、文化の違いが当然あるので、自分は「あたりまえ/当然」だと思っていることでも学習者はそうでないと意識していきます。
- 地域には色々な人が住んでいるのでその人達の協力を得る。一つの言葉から展開が広がり次の言葉の勉強になります。学習者のニーズにあわせてアドバイスを。日本の生活で困る事をきいてみる。

• レヌカの学び。オープンクエスチョンとクローズクエスチョン。マズローの欲求。好きな事シートなどのシート活用。話のアイディアマップ。

- 寄り添う（ボランティアと学習者は対等）。育ってきた環境習慣が異なるという事を認識した上で共生。学習者には出来るだけ日本語（より簡単な日本語）で説明する。ジェスチャー、絵などの手段も理解向上につながる。ボランティアが汗をかいて調べるのではなく学習者に調べてもらう。ボランティアが話すのではなく、出来るだけ学習者に喋らせる。
- ボランティアは生活を手助けする人で、先生ではない事。やさしい日本語を日常で使ってみる。語彙力の高め方。表現の仕方。会話の広げ方。気付いた行政への期待。
- 文化庁では色々な事をしているが、一般的には知られてない残念さ。ボランティアだけでなく、行政でも広く知らせる事が大事。これから生活者としての外国人はふえると思うので、日本語学習ではなく互いが寄り添い歩み寄る社会にしたい。
- 「日本語学習支援ボランティア」は教育指導だと、ばかり思っていたがそうじゃない！“一緒に考える”これが基本だ。
- 自分が経験したことのない事は、なかなか理解できない。言語、宗教、人種、体験、知識…様々に異なる人に「深い部分」から「日本を知っていただくお手伝いをしたい。
- 語学、いいですね～、なるほど、寄り添う、待つ、ゆっくりはっきり、間をとる、お喋り学習。
- 学習者とボランティアのかかわり方（+交流協会）。学習者を社会で受け入れていくことの大切さ。学習者が頑張っていき社会とかかわっていくことが出来るようになっていくことが、うれしい事を表現することが、彼らへの勇気づけになっていくこと。色々な事を自分で考え、それを言葉に表す大切さ。文化、習慣、単語、色々な違いを頭ではなく実体として考える。自分でもそうだが、踏み出す第一歩の勇気の大切さ。
- 学習者の環境との係わりをまじえた支援で早く自立できるようになることを目指す。
- 文型へ導くための手段として一つのテーマを決めその言葉から連想する言葉を多く出し、図式化し動詞や形容詞を加えていくことにより会話をしながら文法

も学べることがわかった。学習者からの質問に対しては全部ボランティアが答える必要がなく一緒に考えたり調べたりして学習者が知りたいと思った欲求を満たすことが大切だと気付いた。国民性を考慮して、学習者と向き合う事が大切だが差別や偏見になってはいけない。こちら(ボランティアや日本、地域)の情報を一方的に伝えるのではなく「あなたのお国ではどうですか?」を必ず聞くようにしたいと思った。外国人参加の協働作業の中で、思いの外、外国人が折角日本語を学習しても話す機会が少ないか、又はほとんどないことが分かった。

- コミュニケーションスキル。工夫次第でやさしい日本語で伝えられることがたくさんある。学習者を交えての、特に来日後1~2か月の方に日本語の単語の意味を伝える工夫をあれこれ学び、双方楽しい経験である事を発見。日本語学校の校長先生や講師先生の講義も具体的で文化庁発行のテキストのことが知ることができ参考になった。様々に活用できる学習教材がある事を知る。お喋りを学習へと発展させていくことは学習者の意欲を満たし有効。「レヌカの学び」「トラップゲーム」を通し自分を振り返る機会を与えられた。
- スマホの変換を使ってもOKな事。他の県、市、愛知県、台東区のインターカルのあり方、やり方。活動を組み立てて進めるやり方。レヌカの学び、日本人同志でも考え方が多民族はもっとたくさんの違いがあるとのこと。まったく分からない言葉をどうやって理解にしようかのいろいろな方法。
- やさしい日本語を使う。待つことが大事。自主性を引き出す。会話を可視化する。対話する。話を広げる工夫をする。共に歩む。好きなことシートを活用する。お喋りを学習に変える。身近なものが学習素材になる。オープンクエスチョン、クローズドクエスチョンをうまく使う。相手のために質問する。
- 交流協会は税金(基本)でまかなわれている。気が引き締まる思いがした。ムダには使いたくない(この場、この支援を)。日本にいる(千葉にいる)外国人の実態などを数字で表しその実情を知ることが出来た。“外国人”とひとくくりに考えてしまいがちな自分に一つ新しい風を入れてもらった気分。認識が変わると見る目も変わる(変わるかも、変わりたい)。ここでの実体験が少ないので気楽に自分には偏見はないと思っていたが案外「あるかもしれない」そういう自分に気付いて少しでも柔らかい心を持った支援者になれたらと思う。この上、難しい文法やノウハウに取り組むのはかえってストレスになり。支援者であり続けることが難しくなるような気がする。反面、もう少し知識を増したいとも思うが。

- 相手の学習者の希望に沿った学びが実現できるための準備(段階に応じて)学習者の目指している処を知る。学習者の性格(気持ち)を知ってこちらが邪魔をしない。日本人は余り自分のことは言わないもの。寄り添う事(相手が疲れたら自分も休む)
- 何と言っても多くの経験があるほど多様な思考提供ができると感じました。楽しい経験だけではダメです。相手を知るために、自分を知らないと言葉では耳にしてもいざ現実になった時、いかに自分が小さいかと残念に思った。ボランティア、辞書には志願とあった。必ずしも外国人に対して無く、自らが自らの意志で何かをするために、自分の考えをしっかりと持つことが大切だと思いました。
- 学習支援者に対する接し方のスキル。テーマは具体的に、一文は短く、間をとる、事実か質問か機能をはっきりさせる。話のネタの作り方。学習者のニーズに対する活動、支援のあり方。

3. 今回の養成講座で理解しきれなかったこと、疑問に思ったこと、これから自分で考えてみたいこと、試してみたいことを書いてください。

- 現在は活動していないが、来年落ち着いたら再開したい。地域活動の機会があれば参加したい。出来れば妻共とも。NHK語学講座(基礎;中国、仏、伊、ロシア…)を続ける。学習者の要望の把握、課題の把握、本当の問題点を知るように努力する事。
- 日本語学習者が学ぶ日本語文法の概要を勉強する、または知る必要性はないか?→国文法とは異なるので知識として知っておいた方が良いのか?知らなくてもつとまるのか?日本語ボランティアとしての適性。全10回の講習を見て自分自身に日本語ボランティアの適性があるのか?改善点や心構えの不足点、その他を指示していただきたい。協会が求める日本語ボランティアに必要な資質に自分が合っているのか不安になった。
- この事業がどのくらい日本語普及に貢献できるのか。卒業されていった方々にぜひ感想を聞いてみたい。アジア各地には日本語を習得した方々の集う(中国系はJAGAM)等から人に来てもらい経験した内容(良いところ悪いところ)について講義をしてもらいさらにどのようにしたらよいかを協議してみたい。
- ボランティアを増やす必要があるのか。例えば今どのくらいの学習者が実際に

必要を感じているのか。ボランティアの押し付けになりはしないのか？社会のニーズに応えることが出来るのか考えたい。

- ボランティアとしてやっていきたいと思っています。
- グループで話す時に意見がぶつかって理解しあえない回があった。この講座では歩みより、対等、寄り添った形でボランティアをすることがお互いのためになると学びと理解したが、中には師弟の関係である時が絶対あると話した方や自分が経験していることは絶対と考えている人がいて思い込みの恐ろしさを知ったし、こういう場合の対応のしかたが今後の課題。
- 10回の講座、自分のとても受けたかった9回を受けられなかった事がくやまれます。他のボランティア、学習者と協働で活動する機会を持ってみたいです。
- 以前にもお話したが地域の日本人の子どもと外国人児童が学校以外の場で楽しく交流できるといいと思いました。今日のケーススタディでも子どもの頃から偏見を生まないための教育が必要とありましたが、やはり机上の教育のみならず実際の交流が有効なのではないかと思えます。いろいろな国の遊び、日本文化（七夕…）などをツールとして。萬浪先生ぜひ企画に入れてください。
- 学習者との会話で「待つこと」の重要性がわかりましたので実践していくつもりです。しかし、どこまで待つかは実際にはなかなか難しい判断だと感じることもあります。実際やってみながらわかっていくことだと思います。
- 今、「みんなの日本語」でアドバイスしていますが、今度、加曾利貝塚へ希望者を連れて行く予定ですので試してみます。（ボランティア 10名くらい学習者もそれくらいですが）希望者ですのでまだ人数は決まっておりません。
- 色々なシートを活用してみたい。語彙を広げたい。表現力を広げたい。
- これからは一つのテーマから「ツリー」を利用して話題をふくらませて楽しく会話していきたい。
- 自ら日本を選んで来ている人は意欲があるのですが、環境によって来てしまった人は、意欲の高め方がわからない。何もしなくてもここに来ていれば日本語が上手になると思っている。人への接し方がわからない。ここで出会ったボランティアの人とのつながりをさらに広げて行きたい。グループでの活動の場も設けてほしい。
- 外国人の「日本語学習」に費用負担させないで学ばせることが当たり前」とい

うことに若干の疑問は残る。そうは言っても「日本語学習教室」で実際ボランティア支援を行っている。「困っている人に手を貸す」のは「日本人」だからです。

- 問題は、どうして1週間1回で1年間の時間がとれるかどうかで、もう少し短期間で出来る事はないでしょうか。
- 地域のボランティアをさせて頂く時に、短期間ですが講座がありました。ここでは「やさしい日本語Ⅰ・Ⅱ」の教材を用いてどう指導するかを学びました。実際ボランティアをさせて頂く時「やさしい日本語」を使い教科書会話や文法を学んでいくので良いと思っていました。今回、その中の文などから社会で生活の中で複合的に使ってケアする事の大切さを学びました。色々な場面で役立てて生けるように意識して頑張っていきたいと思えます。
- ニーズの高い順からカリキュラムを作っていくことを試したい。協会の1:1の支援では学習者の環境でいつ終了になるかわからない点が難しいが。（仕事が替わる、引っ越し、原発事故で国へ帰る、忙しくなって協会に来られる等）
- 学習した事をもう一度初めから読み直し、まとめ直し振り返りをしたいと思えます。整理した上で教室活動に生かしていくつもりです。たくさんの知識が得られました。
- 文型シラバスのことは全く分からず、テキストを利用すれば…？文法については助詞等学習者にその大切さを強調してきたのですが、初めは助詞なしでも十分日本語として通じたので初めは考えなくて良いのでしょうか、日本語がうまくなるうちに助詞など文法的な面も自然に改めていくものでしょうか。中途半端な日本語がいつまでも尾を引くのではという不安がありました。今は影響がないと思っています。
- 現在、日本語学校に通っていない10代の子どものボランティアをしています。一応テキストに沿って進め、興味のあるようなテーマを考えてはいますが、これは良いのかどうか迷います。私自信が、初歩の文法をもっと学ばねばと思っています。
- 最後の回で学習者がどうしたら地域とつながりを作れるかをケーススタディで考える機会がありました。そのためにどういった場や機会が必要かもう少し具体的に考えてみたいと思えます。たまたま鹿児島県の友人に聞いた話ですが、そちらの国際交流では月に1度程度、そちらに住む外国人と鹿児島市内の方々が一緒に料理などのイベントを通して交流をしているとのことでした。母国の

料理を紹介してもらったり、日本の行事も紹介している様子です。その例から、料理などのイベントを通して交流できないかやってみたいです。

- 経験（支援）の多い人達の話やセンター外での支援（物質的、～の紹介）やプレゼントなどをされていてちょっとおどろいた。必要ならそういうことも惜しまないが経験がないのでさてどこまでとちょっと気になる…ケースバイケースでやっていくしかない。人間関係は基本対等でありたいと思う。
- 学んだことを実際のボランティアの中で活かして行き、身につけていきたい。今の自分の生活のスタイルから学ばせていただいた精神を活用してボランティアとして自分を耕したい。
- 外国人のホームビジット、ホームステイ、等々を始めたいと思っています。この講座を受講したことにより自分が安心し、また困ったときに、助けて頂ける機関を知った事が良かった。
- 学習支援が日本語を教えるだけではないという事は十分に理解しましたが、日本語文法についての知識は全くなくやはり不安が残ります。今後、交流協会で初心者向けの日本語教室があれば見学し理解していきたいです。

4. 養成講座で、自分の気持ちがどのように変わったか、書いてください。

- NHKラジオ語学講座の学習者（中国語、仏語、ロシア語…）なので、学習者の気持ちが少し分かる。逆に学習者もこの自国語の講座を利用すれば日本語学習（今の文化）の近道になるのではないかと考えています。養成講座では、グループ学習、実践学習が参加型で緊張感あり。良かったと思います。学習者の自立のためには、きれいな事、上辺ではなく何をしなくてはならぬか、してはいけないか、勉強になりました。深謝、謝謝、多謝。
- 日本語ボランティアとしての立ち位置に悩んだが、対等関係を築けるように心掛けるようになった。日本語レベルによらず学習者と向き合い…2時間の授業を組み立てられるようになったのは私としては進歩に感じる。が、10回の講習を通して私には日本語ボランティアとしての資質があるのかという疑問とも向き合うようになった。「自分は楽をして」という言葉は簡単だが実行するのは難しそう。相手との距離感は大切にしたい。学習を進める上では広告の利用、好きな物シートの利用、最後に「お土産」で1日に使った表現のまとめシートを渡すともに実レッスンに沿ったアイデアが豊富でとても助かった。受講

者さんたちが実にいろいろなことを考えていて、刺激になったし良い機会でこのような講習に参加できて幸せです。。

- 自分たちの思っているボランティアと実際参加してみてそのギャップの開きがさらに広がったように思う。生半可できることではないと痛感した。
- 語学を学んでいることが役に立てればという軽い気持ちが思っていたより真剣に取り組むべき問題であると気付きました。無責任に放り出してしまうより今の内に辞めることまで考えました。でもまだ登録すらしてなくて頭の中だけで考えていても仕方ないのではないかという気持ちが起こり、最後まで講座に参加させていただきました。やってみて問題が出てきても講座で知り合った皆さんを大いに頼ってやってみたいと思いました。
- 養成講座でボランティアとして出来る色々な事を知りました。気持ちも楽になったように思います。
- 日本語ボランティアの意識は明確になった。まだ自信がないことがあるが今後も協会で差しのべてくれる講座やイベントで力をつけていきたいし助けてもらいたい。また、もっと外国人と交流したいと思った。
- 広い意味で、自分自身は話題が豊かな人だったら楽しく会話できる。若い学習の方に対して年齢の差で話題の組立てなど難しく思っていたが、学習者からの話題提供で自分も調べたりする事で楽しめるようになった。萬浪さんの講座と出会ったおかげで又ボランティアを再開しようと思えた事が私の中で一番の収穫でした。「教えてあげなくちゃ一緒に楽しもう！」に変わった事が嬉しい。私のこれからのライフスタイルの中に、このボランティア活動を細く長く続けられたらと思っています。自分はとても楽しくボランティアをしています。学習者がどうなのかをちゃんとつかまなくてはと思います。
- この養成講座をとる直前学習者が突然休むというトラブルが続いたこともあり、私の教え方がまずかったのだろうか？ただ会話を楽しむだけでは不足だったのだろうか？もっと技術的な事を教えてほしかったのだろうか？と不安になりましたが、ここへきて会話を楽しむという形でよかったのだと自信が持てました。活動前にどのような内容をお互い求めているのか確認したいと思います。
- 文法を100%教えることができなくても構わないという事を知り安心しました。一方で「相手に寄り添う」とか「やさしい日本語」などに気を配っていきたいと思います。

- 結構楽しくやっていますので、この講座でアドバイスして下さった事をいかしてやっていこうと思っています。いろんなボランティアの意見が聞けたのでよかったです。
- 学習者とはどのくらい学習につながっているのか不安がありました。今回の講習でいろいろ物を使って学習レベルアップにつながるよう頑張ってみようと思います。
- ボランティアは寄り添って傾聴することが大事であり、自分で働き過ぎるのは逆効果であることがわかった。今までよりももっと上手に学習者と接することが出来るという自信を持った。
- 自分の経験を元にしていたので、その感じ方が間違っていたと思い自信がついた。工夫の仕方を色々学べてよかった。ボランティア（日本語）の情報がいっぱい聞けた。相談出来る場となった。自分の活動に対する自己評価になった。ボランティアと学習者が同等であり、支えになるだけ。
- 日本語学習教室のボランティアをしているが、私の話を「楽しみだ」と言ってくれる学習者も出てきた。ありがたいし、嬉しいし励みになる。養成講座で教わった事を次回の教室ですぐに実行してみた。来週からはなんとかしないとけない。
- 初めは英語学習にプラスになればと思って参加しました。しかし、今は日本語学習ボランティアに参加してみたいと思います。しかし、それにしても今までやってきた趣味とか学習を整理し基礎的な事も勉強も加えたいのでボランティアに参加すべきだと思います。それが出来るかどうか。
- よくできていると思う教科書、やさしい日本語を使用しつつ、それに、とらわれないで多文化共生の考え方、やり方を融合させていけたら良いと思います。
- テキストを使っていたが、半分以上は脱線していた、それが意外と今回の講座で誤りではなかったとわかった。トピックスを入れたいのだと認識できた。
- 文法、文型を教えることのみ終わるのではなく、対話型の学習になるように工夫して行きたい。学習者と共に町の中に出て共に活動（行動）したい。この講座を受講したことによりその方法が分かった。
- 役に立つツールを教えていただいて学習者にすぐ応用しています。今まで楽しく学習をしてきましたが、一層学習者に喜んでもらえる学習を提供できるように感謝です。

- 変わったというより、人と人のかかわりで、学習者に寄り添い興味を持って（良い意味で）進めればよいのだという事を改めて認識しました。その為の活動方法を考える事は必要である事。すべての活動が学習者に沿っているかどうかはその時々でよし悪しはあると思いますが、それも又新しい発見で経験として積み重なっていくのではと思います。
- 講座に参加する前には、学習者との悩みも一人がかかえていて、どうしたらいいかわからないで不安でした。今は分からないことも少しずつ分かるようになり、ボランティアとしての自信も少しずつついたように思います。
- ここに入った最初の気持ち。今私にあるもの（持っているもの）であなた（学習者）に役立つものがあればどうぞ使ってください。この気持は変わらないで持ち続けたいと思う。
- ボランティアとは慎ましく優しく楽しいものですね。相手の気持ちを大切に出来る、自分の日頃の努力を大切にしていきたい。背伸びしながらも努力して埋める準備を（己を耕すことはなし）
- 自分も今まで学ばせて頂いた事がボランティアの時、生きて働きかけてくださっていると感じ嬉しいし、学習者も、今日は楽しかったと言っていただけの日を楽しみに。
- 「日本語ボランティア＝日本語が話せる人」では無く心配も大きかったが日本語教師でもないもので、少しホッとしました。自分が外国で生活をするとしたら…と考えて相手に接すれば答えは正解でなくとも、教えたり教えられたりで導かれて行くと思いました。日本語に対し、今後、より興味を持つようになった事に指導して下さい先生に感謝しております。受講生の使命として地域社会に還元できるよう努力しなければと心を新たにしております。
- ある程度日本語が理解できる学習支援者に対する支援の方法（話のネタの作り方）についてはいろいろ知ることは出来て、楽しくなってきました。今後初心者の方と対応する場が一つの課題だと思います。

実践講座 第1期

【日本人】

- 強く感じた事「全肯定/承認」について。何となく感じていましたが、納得しました。日本語があまり分からない学習者と話すにはこちら側も非常に考えさせられます。学習者の日本語の程度によく考えて対応することが結構難しいと感じました。
- マンツーマンだといふ沈黙をおそれて、次々と話題をこちらから提供することがありましたが、待ってば話を自主的にされることがわかりました。前半の講座があったからこそ学習者とゆっくりと向き合えたような気がします。ボランティアでは研修や勉強会がないため不安で自信なく続けていたのですが、本日の講座をもとに支援活動をつとめていきたいと思います。
- 英語を使ってはいけないと言われ難しいと思いました。忍耐が必要。場数を踏まないと色々な人がいるので教え方も一長一短にはうまくならないし、先輩のボランティアさんのやり方を見ながら学ぶ必要もあると思いました。
- 学習支援のあり方、特にボランティアの役割について認識し直すこと。理屈では分かっているけど実際は難しい。会話が続かないといふ話をつなごうとしてしまう点は大いに反省しなきゃ。
- 自分が話したことを、もう一度学習者さんが内容を話してくれることにより、きちんと意味が伝わってないものもあるとわかりました。改めて、確認の大切さを知ってとてもよかったです。また、前半で傾聴について学習したのうなすきや肯定しながら相手の話を引き出す度六をしましたが、実践ではきちんとできなかったのもう少し頑張ろうと思います。
- 今まで、日本語学習支援中に、英語で説明することが多かったです。しかし短期の滞在者にも、やさしい日本語でわかりやすく説明すると、理解してもらえるとわかりました。初めてのセッションでお話いただいたことはすべておいて大いに役立つことばかりです。頭での理解だけでなく実践していきます。
- いつも相手がだまるとこちらから言葉をかけてしまっていたが、沈黙して「待つ」「聞く」ことが為になると思った。(3割は沈黙しても構わないというのは勇気がいりますが。) もっともときれいに文字も書いてマッピングなどもきれいに書けるようになりたい。わかりやすくするための色々な方法を今後も学んでいきたい。
- 自分が話すのではなく、学習者に話をしてもらうことの重要性を認識しました。(待つことの重要性) 一つの言語の違う言い方/表現で示すことを常に意識したいと思います。

- 外国の方との話は大変意味がありました。2人とも日本語が上手でボランティアの話もよく理解してもらいました。勉強になりました。大変参考になりました。
- 学習者の話した言葉をメモしておく、その後、話が広がりやすい。どのように日本語を学習してもらうかとも悩んでいるので入門日本語ボランティアクラスに参加できる機会があればうれしいです。
- やはり自分がしゃべりすぎだと思いました。でも、学習者がどんどん日本語がうまくなっています。なんで？要約してはいけないと言われましたが、正しい日本語は言わないといけないのですね。
- 学習者が表現したことに「笑い」を投じることのリスクを初めて知った。悪気がない事はもちろんあざける笑でもないがそれが時として学習者を落胆させるものとなることと知っておくことが大事。ベトナム人学習者を交えてのひと時だったが、積極的な姿勢に感銘さえ受けた。今後が楽しみ。
- 学習者の話を引き出すのに時間がかかりますが、待つとゆっくりでも単語が出てくるので、待つことの重要性を実感しました。つい英語で質問してしまうので、日本語の他の表現で聞いてみたいと思います。また、楽しかったお話を共感できてよかったです。
- ベトナムで4年間、大学で日本語を学び、この3か月間日本で学んでいるチャウさんはいつも「だいたいわかります」と理解していることを示し少しやさしい言葉で補足するとよく理解されましたので支援ボランティアとしては楽に参加できました。理解されなかった場面もありましたが、訂正する必要もなく。こちらも時々質問し、より詳細な内容が把握でき楽しい。
- となりの王さんの日本語がとても美しい字を書いておいでなので緊張しました。もっともっとお話をきけるようになりたいです。話が伝わっているかの確認がちょっと不安です。大丈夫かなあと思いながら手さぐりです。
- やはり次のように強く感じました。学習者に出来るだけ話してもらう。「待つ」ことの重要性。いろいろな言い方で説明する。
- 漢字の表意と表形。
- 自分の何気なくやっていることでもわからないことが多い。自分は全部わからなくても良い、事を知りました。学習者から質問してもらうにはどうしたらよいか？

- 日記風に前の一週間の出来事や行動を会話の資料と使うことが多いが「行ったところ」「食べたもの」など特定のモノに限定することで千葉以外の他の情報や交通機関の利用方法なども興味があることを知った。それにしてもクチャックというものはどこで買えるのか教えてほしいですね。
- 支援者がつい質問をしてしまいがちですが、学習者にも積極的に質問をしてもらうとより会話が広がりやすいと分かりました。そうするためにも「待つ」事は大切だと思います。さらに、質問しやすい雰囲気はどうやって作るかが課題だと思います。これからもっとコミュニケーションスキルを磨いていきたいです。
- ティュライさんとの協働セッションの中で彼女の話ぶりを観察しながら先取りや要約を控え日本語をどのように話していくのか考えている時間をゆっくり持ち同調促し話す喜びが感じられメンバー全員でいいセッションが持てたと感じました。わかりやすい日本語を使うこと、待つことの重要性を強く感じました。この3日間学んだことを実践したいと思います。
- **あし後**の文法説明で「私はまだまだ未熟」と思い知らされましたが、学習者と触れ合えてとてもよかったです。また、同じようにボランティアが悩んでいたりで参考・励みになりました。「～て、～て」という表現を多用していたので自省します。また、待っているとちゃんと相手が話してくれるのだと思いました。
- 早く日本語を話してしまった。あまり、会話の中に入れなかった。でも、数学や料理の説明はできた。もっとゆっくり話したいと思った。
- 今回の講習で学習者と話す時はどうやって話したらどうやって伝えたら自分の衣いたい事伝えたい事が相手にわかりやすく伝えられるのかを思いました。自分の衣いたいことを言う時は、ゆっくり相手の表情を見ながらやるのが大事だと思いました。
- 一番感じた事は相手に話してもらう事です。自分がふつうに話をしている、いつも日本語が分からないと相手の人は返すことができません。なので、自分のわかる事を教えながら相手のことを考え話すことが大切だと思いました。

【外国人】

- 先週の文法クラスの後このような会話クラスを受ける事ができて満足してい

ます。日本語で聞いたり説明したりしようと思います。

- ボランティアのみなさん、とても楽しい雰囲気です。遠慮なく日本語が話せました。間違っても大丈夫な感じで本当にリラックスして日本語を学びました。とても楽しかったです。来週の勉強も楽しみです。もっと早く上手になりたい。今まで外で日本語を話す自信がないからとても緊張していましたが、今回はとてもよかったです。
- みんなと一緒に話してよかったです。説明が易しかったです。ゲームも楽しかったです。
- 今日は勉強が楽しかったです。みなさんやさしいです。言葉もいろいろ説明してくれました。分からないこともあります。でもすてくれました。
- おもしろかった。いろいろな言葉を知っている。たくさん日本語を話せる。ミニゲームがあった方がいい。
- 今日は初めてここに日本語を習いに来ました。とても嬉しいですが少し恥ずかしいです。次回は恥ずかしからずにもっと多くの事を勉強しようと思います。ボランティアはとても親切でした。楽な気持ちで学習できました。もっと勉強しようと思いました。次回はもっと日本語が理解できると思います。
- グループで「私の楽しかったこと（誕生日を娘と一緒に過ごしたこと）」を伝える事ができてとてもよかったです。
- 今日楽しい勉強ができました。テーマも面白かったです。デューエットの中に一杯カタカナの誌を覚えました。カタカナについてわずらわしいし、分っても書けないし読みにくい。発音もとても難しいが一生涯懸命勉強したい。
- 話やすいテーマでよかったです。グループで話し合うのもよかったです。
- 今日はたくさんの言葉を学びました。別の会話クラスも希望します。
- 楽しいです。言葉をいろいろ勉強しました。先生もやさしいです。また勉強に来たいです。言葉が分かります。
- 葬式の言葉を学びました。日本人の生活、ふだん何をやるか、どこに行くかなどについて話を聞きました。
- 楽しかった。いろいろなことを知った。

実践講座 第2期

【日本人】

- ・先取り、要約、同調名人にならないように気をつけて話を聞くことを努力しなければと思いました。つい助けているつもりで言いたいことをくんで言うてしまう何分に気がつきました。まだまだです。
- ・このようにして学習していくのを実際に経験でき大変役に立ちました。良かったです。
- ・どんな話題を投げかけたら相手をもっと話せるか。こちらが2割に留める。間を持つ姿勢が大事。
- ・自我流でやってきたことがいかに反省すべきことがたくさんあったかを実感しました。3回の講義の中でどれだけ反省点が改善できるか頑張りたいと思います。
- ・学習者が話したいことを存分にできるよう、私たちは待つ姿勢が大切であることがわかった。互いに一方的に話すことを避け言葉のキャッチボールができるように努力したい。共通の話題が多いと会話の内容が広がり楽しい時間になると思う。
- ・学習者の話が止まった時、待つ…なのですが、やはりこちらの対応も出方でつながるのかなと思われました。最後はこちらから知りたい事を聞いて会話がつながりました。
- ・学習者とボランティアの会話のやりとりについての注意すべきことは、とても参考になりました。いつも理解してもらおうとこちら側の発話量が多くなってしまいます。
- ・相手の言ったことの復唱する時の内容が違ってないかどうか（メモをしないで、）自分のテーマは日本で暮らしに必要な行為を私自信も調べて勉強しなくてはならないと思いました。
- ・相手の理解度を確認。質問が出ているか。

- ・聞いた内容を要約してもう一度話をする事で、できないことを確認することが大事。書いてもらうこと。わからない言葉を自分で探して記憶をインプットさせる。復唱することも大事
- ・日本の生活の中で必要なこと（優先順位）を覚えていただくために、学習者の「できること、できないこと」を知ることが大事である。
- ・相手の話を聞いて、内容が理解できたかどうか確認のため、話の内容を復唱することは、相手が外国人のみならず日本人同士でも役に立つと思った。理解できなかった言葉は質問したり、書き取ったりして調べて理解することが大切。
- ・地震の時の避難の方法。分かっているでもその人その場面を的確にとらえ避難方法をさっと言えないといけない。話を的確に聞き取ることの難しさを感じました。
- ・実際の会話練習は有意義だった。新出語彙を記入し、確認するのは覚えやすいと思った。
- ・11時から生徒との実習でした。日本語の引き出し方は大変難しかったです。でもやさしい日本語や興味ある話題だと話がスムーズで楽しかったです。細かくいうと間違いはありますが、ポイント理解されていれば良いのかなとも思いました。
- ・話を要約して復唱した文を学習者に渡すことで復習して頂ける事。そして学習者が聞いた発音をひらがなで書いてもらうのはとても良いことだと思う。私も“さようなら”をベトナム語で“ダメ”と聞いたが書くと“ダンビエ”となることが解った。3回しか受けられなかったけれどずっと続くといいなと思います。
- ・学習者の生き方、行動を知ると話が進むでしょう。他国の話から学ぶことができ、楽しいです。世界観が広がるのは良いことです。
- ・学習者の皆さんがとても良く勉強されていて、その意欲にはおどろかされました。この講座で学んだことを支援に生かしていきたいと思っています。参加されていた方々の熱さに大いに刺激されました。
- ・3回の講習はとても短かったが、支援の基本を見つめ直すのに良い時間となりました。今後もこのような講習があることを希望します。
- ・萬浪先生のメリハリのある講習は、毎回大変楽しみに受講させて頂きました。

とてもおもしろかったです。是非、また先生の研修会に参加して新しい技術や情報を学びたいと思いました。外国人学習者を交えての話し合いは大変良かったと思います。活動に参加している教室に来る学習者との違いも分かりました。

- 書くことにより言いたいこと、思っていることがわかる。勉強、知識が必要。
- ボランティアによって講師の要求が何であるかの確認が十分ないためセッションが意味を失くす場合が多い。必ず、デモをしてボランティアに理解させる必要がある。

【外国人】

- 先生がやさしくてまじめでかわいいですね。練習のチャンスがたくさんあって、とても好きです。今後また参加したい。新しい同級生が知り合いになることがとても楽しいです。
- たくさん勉強できました。日本語を話すチャンスが増えてよかったです。ボランティアがやさしくてよかったです。
- みなさんと会話をしました。とても楽しかったです。いろいろな新しい言葉を習いました。このような交流がとても役に立ちます。
- 参加者みんな親切です。今日新しい言葉をたくさん習いました。
- 日本語をたくさん練習しました。とても楽しかったです。でも私は日本語が上手じゃないからたくさん話せませでした。今度頑張ります。今日。
- たくさん新しい言葉を勉強しました。とてもよかったです。会話がだんだんよくなりました。
- 日本語の勉強が楽しかったです。
- 相手にたくさん話してもらえるように待つように心かかる大切さ。学習者を交えての時間は勉強になってよかったです。
- 新しいボランティアがいてとてもよかった。よく会話の練習をしました。
- 今日、先生にたくさん新しい単語を教えてもらって新しいテーマとしていろいろ読んでもらいました。先生はいつも親切に教えてくれたので、自分の学習が

足りないところも分かりました。毎日たくさん日本語を勉強して上手になりたいです。今日は医療関連、処方箋について内容の確認、病気の説明、薬をもらうなど勉強できました。ご指導。

- 今日たくさん新しい単語を勉強しました。交流の時間は難しかったですが楽しかったです。時間が短くて話したいことが全部終わらない状況でした。もうちょっと時間が長い方がいいと思います。
- 今日私は方法を理解することを知りました。大切なものを知りました。今度必ず早く教室に来ます。
- 今日とても楽しかったです。「受診や近くの人にお知らせ」などを練習しました。もっと日本語がたくさん話せました。
- たくさん新しい言葉を勉強しました。「病院で受診受付の手続き」もできました。「デパートで交換する」こともできました。今度ぜひ実際にやってみたいです。
- 日常生活に使うためにいい練習でした。とても楽しかったです。
- 普段このような経験はあまりないけれど、職場体験を通じて思ったことは、普段中学生も学校に行って勉強をしていたけれど外国から来た人たちも日本に来てから毎日一生懸命に勉強していたので、すごいなと思いました。
- 外国人といろいろと話すことができとてもいい経験になりました。僕も将来外国人に日本語を教えることができればいいなと思いました。とても楽しかったです。
- 今日たくさん日本語の単語を習いました。向き合って練習して先生も根気よく良く使う言葉を説明してくれました。自分のことが自分で解決できたので、よかったです。このように日本語を勉強ができるチャンスをお願いします。
- たくさん言葉を勉強してとてもうれしいです。言いたいことがありましたが時間が足りません
- もっと長く。またチャンスを増やしてほしいです。
- いろんな話題でたくさん話をしました。とても楽しかったです。日本語ベトナムのあいさつとか習慣とか勉強をしました。そして、今回の学習の言葉引き続き頑張ります。

- 今日私は先週の生活を話しました。勉強したりアルバイトしたりします。先週の金曜日に交通事故にあったことを話しました。あいさつに種類と目的を理解することを勉強しました。
- 日本の一般的なマナーについて勉強しました。丁寧な言葉も習いました。お疲れ様でした。
- 私は「が」と「も」の使い方が分かりました。楽しかったです。
- この講座はとても役に立ちました。ボランティアもとても親切でたくさん教えてくれました。

取組3 多文化理解促進

多文化理解セミナー（外国人・日本人順不同）

セミナー1 「まちの未来を語ろう～グローバル化と多様性」 講師：神吉宇一

たくさんのことを習った。気持ちが良い。

自分の名前を韓国語でどうやって書くかわかった。意見もたくさん聞いて理解度とヒラメキ度が深まった。

あっという間に3時間が過ぎた。面白かった。

交流やコミュニケーションに引け目を感じていたが参加できて引け目を感じられなくなってよかった。

変わるって楽しい。でも…

友達を作りたい。英語だけではなく、他の国の言葉も学んでみたいと思った。

街のことがいろいろならえた。

はじめは緊張したが、ディスカッションの内容だけに限らず、たわいのない話をすることによっていろいろなことを理解することができて面白かった。

もっとたくさんこういうイベントがあればよい【多数】

人生で1番いい経験だった。

いろいろな視点から物事を考える大切さがわかった。様々な国籍の人とお話しができて楽しかった。

ちょっと忙しかった。

優しいと思われる課題をグループで話し合ったが、優しいことこそ難しい問題も含んでいると感じて楽しいセミナーだった。

このような活動に参加できてよかった

セミナー2 「え？わたしだけの思い込み?!～世界地図で見る価値観の違い～」 講師：松尾慎

テーマとのつながりがよくわからなかった

もっとこんなイベントやって欲しい 【多数】

もう少し参加した皆が意見交換できるとよい

想像していた内容とは違っていたが勉強になって良かった

日本に住んでいる外国の方の日本社会に対する意見が聞けてとても貴重な時間だった

ワークショップの進め方が非常によかった

英語のスピーチがわからない

地図や自己紹介はとっても楽しかった

もっと世界を知りたい。語学力を向上させたい。日本をもっと知りたい。

外国の人の参加がもっとあると良い

最後に外国の方がたくさん話してくれてそれを聞いたのがすごくよかった

セミナー3 「宗教と食 ～豚を食べる人、食べない人～」 講師：砂井紫里

今までの考え方が違っていたのが分かった

多文化理解を進めていきたい

交流を持つチャンスがない人々との交流はとても貴重でよかった

イスラム教徒の開国の方がとても日本語が上手だったので、グループ交流もとても盛り上がり、理解が進んだ。

ムスリムの日常生活を日本人に話すことができるのはとても良いです。もっと正しいイスラムの事は理解してもらえるように。

日本の社会にもっとハラルについて理解して欲しい

取組3 防犯パトロールキャンペーン

【外国人】

- ・いいですありがとう
- ・地域のコミュニケーションがどのように安全を確保しているのかがわかった
- ・とてもいい経験になった
- ・生まれて初めての経験だった。パトロールキャンペーンの経験はすばらしい
- ・この散歩は楽しいと思った
- ・歩くペースが速くてとても大変だった。時間が夜遅かった。帰ってから体が痛くてなかなか寝られなかった。
- ・感じたことがたくさんある。夜になると静かで暗い場所の周りを1人で歩く事は危ないと思った。この防犯パトロールは本当に外国人に教えてくれた。日本の警察は熱心で親切だ。日本には悪い人もいる。

【日本人】

- ・何回か続けて参加してもらえると相互理解が深まる
- ・こういう機会をきっかけにして地域行事にも参加して欲しい
- ・言葉の問題があった
- ・語学力がある程度必要不可欠
- ・大変友好的若さ明るさに溢れて良好
- ・とても熱心に勉強していた
- ・続けていけば改善点が明らかになる
- ・時間が短い。オリエンテーションの後にパトロールをしたらどうか

- ・話し合いの機会があったほうがよい
- ・参加者の数を増やしたい
- ・もっと日本語で話しかけてあげると良い
- ・企画性があると良い。例えば英語を勉強している住民との交流も兼ねて「英語で防犯」など
- ・もう少し日本語がわかるとよかった

取組4 協働ネットワーク会議

1. 地域の多文化化に関する横断的な課題共有はいかがでしたか。

- ・様々な立場から課題を見つけ、意見交換できたことは良かったと思う。
- ・他機関の取組が参考となった。また他機関との連携を図っていく必要を感じた
- ・「防災」のテーマにも「就労」や「保育」など様々な問題が関係しているということが知れてとても有意義だった
- ・普段支援をする立場なのでそのようなかわりは経験があるが、外国人自身に支援者になってもらう、また防災という視点はあまりなじみがなかったので、今後の課題をすることができた
- ・巨大災害の前には外国人も日本人もやるべき課題は変わらない。今何をなすべきか共通の課題にすることは可能。シンプルに具体化すること。
- ・外国人も日本人と同じような課題を持っていることがわかった。私たちが多文化についての知識がないことに気づいた。横断的な課題の1部が共有できた。
- ・有意義だったが当方が出席して参考になったか不安
- ・様々な意見が出て参考になったそれぞれの機関でも同じような問題課題を抱えていることを認識できて非常に勉強になった
- ・地域コミュニティ不在と言う問題点が確認できた。業務の方向性に役立てる。
- ・日ごろの業務では得ることができない情報を共有できた店が有意義だった
- ・他の機関の対応などが分かりとても有意義だった
- ・命の観点から考えると多分間と言うよりも人間としての立場で災害を通して共通のコミュニティができると良いと思う
- ・様々な分野の人からの情報交換はとても参考になった。言語にとらわれていたが相手を知ろうとする思いがつながるとより強く感じた
- ・直接的に業務とつながりがあるわけではないが非常に興味深かった

- ・日頃からのコミュニケーション作りの重要性を強く感じた。言葉の壁の問題で工場の少ないことから外国人日本の地域の人のコミュニケーション力をお互いに作る
- ・参加者が多方面からであったのでそれぞれの課題を共有しどう対応しているのかまたはこれからの課題となっていることなど聞くことができた
- ・実際に日本在住の外国人の意見を聞くことができまた多方面の職員から話が聞けた事は大変勉強になった
- ・各機関の課題だけではなく直接外国の人から意見が聞けたことが新鮮だった
- ・国の違いで情報の差が生まれるのは良くないのでなるべく情報を共有し広く知らせるように日々努力が必要
- ・とても有意義
- ・とても大切なことを考えていると思った。外国人として私も何ができるかなと思った。

2. 情報共有を通して、今後、連携しうると感じたことはありますか。どんなことですか。

- ・子どもの力を借りて、実施できることを考えていきたいと思う。
- ・同じ課題で情報を発することができる。外国語のパンフレット作成等
- ・子どもを持つ親は子供のイベントに関心が高いので、外国人に伝えたいことを子供のイベントと関連づけると、参加者が増えるのではないかと感じた
- ・外国人の中でもボランティアをされていたり、日本の生活様式になれていたり交流を持ちたいと考えてたりするような人たちと防災だけでなく、地域づくりを一緒にできたらいいなと思った
- ・韓国人を含めて何がわからないのか積極的に意思表示をしてもらえれば課題はスミダス。子供を通しての防災訓練の提案に賛成する。
- ・今後の方再訓練のあり方。多分下の方との歩より。
- ・国によって文化生活習慣や考え方が違うことについて意見を聞ければ良い。

- ・それぞれの機関で保有している情報を共有できれば基本ベースの向上が図れると思う
- ・防災訓練など組織の方男性を感じた
- ・1つのテーマに対して複数の組織で協力して取り組んだほうが効果的効率的であると思う
- ・防災関係のイベント等で連携が期待できる
- ・防災訓練を地域（居住地）の区切りで考えるのではなく学校保育園等を通じて子供も含めた訓練を開くと良い
- ・情報を共有したことで自分たちのできていないところ課題が見えた。防災図にポイントを絞ったことで災害時の対応を周知するため防災消防国際交流協会地域も含めこちらの問題点を知ってもらい連携したい。
- ・外国人でも国籍なので簡単に区別してコミュニケーションをとることが難しいと感じた。今後地域に入っていく際の参考にしたい
- ・防災の知識において幼稚園小学校などから実施している避難訓練の大きさがあると感じたお互いに積極的にコミュニティの場に参加すること
- ・今日の情報を保育所の保護者に伝えたい。多言語での周知をしていく
- ・特に防災面の職域であることから市の地域防災と連携し1人でも多くの外国人に訓練に関する行事に参加し防火意識を身に付けていただきたいと感じた
- ・警察でも聞いて住民向けの広報誌を作成配布しているが外国の人にも目を向けて簡単な日本語を使った広報誌も考えなければならないと感じた
- ・様々な分野の担当者が参加していたこと。外国人を生活者（住民）として受け入れようとしていると感じた。
- ・すべて。でも持続的なのは1番大切なこと。それでも生活に密着した課題
- ・できれば外国人が日本語できなくてもつながることがあれば他の外国人と一緒に情報を開くといいと思う

3. 次回のネットワーク会議に向けて、内容や進行についてのご意見をお聞かせください。

- ・このような会議に参加することがあまりなく、ちょっと戸惑うこともあったが、今後多文化協働ネットワークについてそれぞれの場所で積極的に話し合わせ、外国の方が地域に根差し、自分の居場所を見つけられるような社会になる必要とがるように思った。
- ・初めての顔合わせでそれぞれが消極的であった
- ・グループディスカッション時には、司会、書記、タイムキーパーを事前に決めておくと話し合いの時間がより多くとれると思う
- ・外国人を交えて訓練をしたらどうか。
- ・ワーキングの初期については国際交流側であるべき。
- ・個人的には今日の災害時の対応策について1住民として参考になった
- ・情報の共有（どのようにどこまで）を進める上での問題点改善方法など
- ・まとめはホワイトボードに直接書いた方がグループ全体でわかりやすい
- ・交流協会さん主催の親子訓練などはどうか
- ・初めてと言うこともある少し盛り込みすぎで長くなったように思う
- ・同様の内容で再度検討を実施しより意識の確認を実施したい。外国人からの生の声が印象的で防災意識の高さに感動した
- ・方面からの参加で討議する機会はあまりないので良いと感じた。知らない情報を聞いたり確認したりってきた。直接外国人の方が参加され意見を聞くこともよかった。
- ・通訳などのコミュニケーションの取り方について重要性を感じた
- ・ほとんどが官公庁の職員だったので民間の意見を聞く場があれば良いと感じた
- ・事例をビデオなどの画像を通してみると活動の成果や問題点がよりわかりやすくなると思う。それを資料に話し合いを始めると話題も広がると思う。
- ・リーダーシップを持ってワークを行う人が必要